

始



長岡高等工業學校一覽



自大正十五年  
至大正十六年

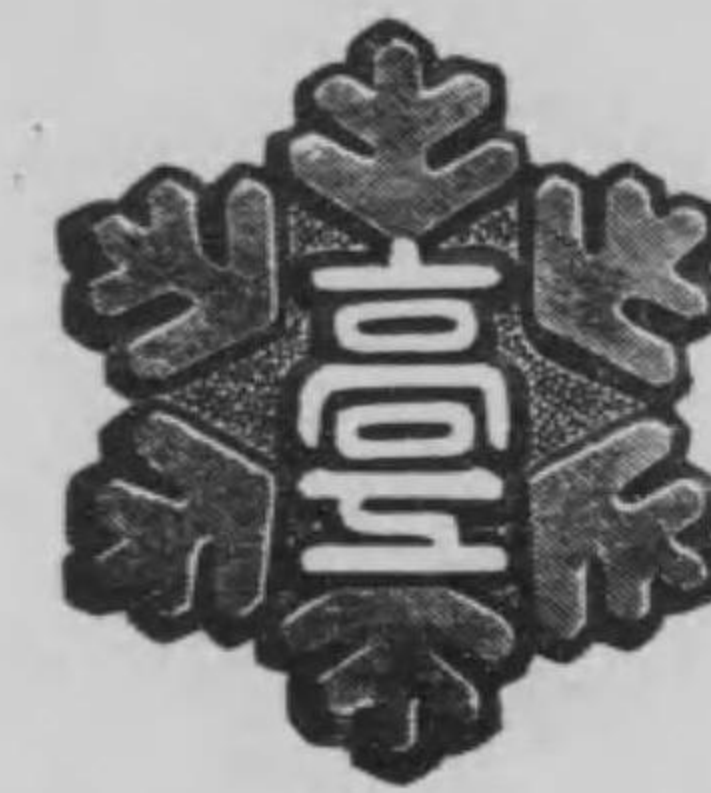


工 5M 25

292-82



長岡高等工業學校一覽



發行所寄贈本

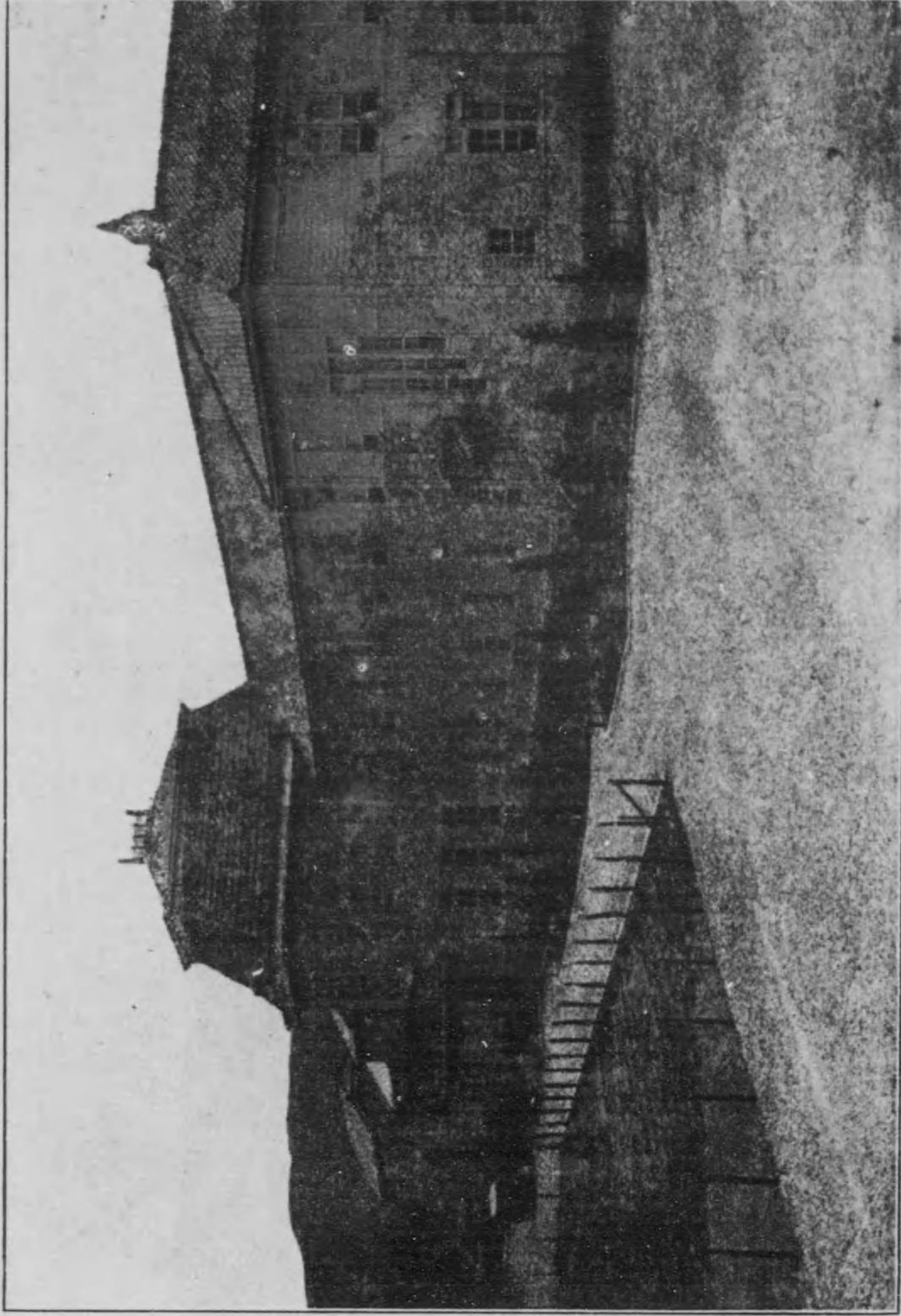
自大正十五年  
至大正十六年

大正

15. 11. 5

寄贈





長岡高等工業學校本館



## 目次

I 學 年 曆 .....	1
II 沿 革 略 .....	2
III 規 則 .....	5
IV 細 則 .....	15
1 學生=關スル規程 .....	15
2 成績考查細則 .....	16
3 學生服裝規程 .....	20
4 保證人規程 .....	22
5 校務分掌規程 .....	24
6 職員服務規程 .....	30
7 傭人服務規程 .....	31
8 文書處理規程 .....	34
9 物品會計細則 .....	35
10 圖書館規程 .....	38
11 非常心得 .....	41
12 宿直規程 .....	43
13 校友會規則 .....	44
V 職 員 .....	46
VI 學 生 .....	52
1 學生氏名 .....	52
2 學級人員一覽表 .....	57
3 入學志願者及入學許可者數 .....	57
4 大正十五年度入學者調(出身學校別、卒業年度別、本籍別) ...	58
5 學生出身學校別 .....	61
6 學生出身道府縣別 .....	62
7 學生年齡別 .....	64
8 卒業生資格 .....	65



VII 關係法令	63
1 文部省直轄學校一覽進達方	66
2 文部省直轄諸學校官制	66
3 文部省直轄諸學校職員定員令	69
4 文部省直轄諸學校長職務規程	69
5 專門學校令	69
6 實業學校令	70
7 實業學校教員養成規程	70
8 文部直轄實業專門學校委託生規程	72
9 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程	73
10 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件	74
11 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ヲクシテ受ケタル 他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件	74
12 文官分限令	74
13 官吏服務紀律	74
14 文官懲戒令	75
15 各官廳執務時間	75
16 官吏職務外ノ演說及敘述許可並其取締方	75
17 三大節ニ賀表及言上書奉呈方	75
18 教員免許令	75
19 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意	75
20 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續	75
21 學生生徒兒童身體檢査規程	75
22 學校清潔方法	76
23 學校傳染病豫防規程	76
24 學校生徒喫煙禁止	79
25 文部省直轄學校生徒喫煙取締ニ關スル注意	76
26 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意	76
27 教育上時弊矯正ニ關スル心得	77
28 文部省直轄學校講演會紀念會運動會等監督方	78
29 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得	79

30 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方	79
31 陸軍現役將校學校配屬令	79
32 徵兵令	79
33 徵兵令ニ依ル一年志願兵ニ關スル學校ノ認定及其ノ 入營延期ニ關スル件	79
34 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ 以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件	80

附 錄

長岡高等工業學校校友會會則	81
悠久會規約	83
長岡高等工業學校建物配置圖	

(府 縣 略 符)

北海道(北)	青	森(青)	岩	手(岩)	宮	城(城)
秋田(秋)	山	形(形)	福	島(島)	茨	城(茨)
栃木(栃)	群	馬(群)	埼	玉(玉)	千	葉(千)
東京(東)	神	奈川(神)	新	潟(新)	富	山(富)
石川(石)	福	井(井)	山	梨(梨)	長	野(野)
岐阜(岐)	靜	岡(靜)	愛	知(知)	三	重(三)
滋賀(滋)	京	都(京)	大	阪(阪)	兵	庫(兵)
奈良(奈)	和	歌山(和)	鳥	取(鳥)	鳥	根(根)
岡山(岡)	廣	島(廣)	山	口(山)	德	島(德)
香川(香)	愛	媛(媛)	高	知(高)	福	岡(福)
佐賀(佐)	長	崎(崎)	熊	本(熊)	大	分(分)
宮崎(宮)	鹿	兒島(鹿)	沖	繩(沖)	臺	灣(臺)
朝鮮(朝)						





前學期(自四月一日至十月三十一日)

- 四月一日 學年始、前學期始、春季休業始
- 四月三日 神武天皇祭
- 四月七日 春季休業終
- 六月 隨時試驗
- 七月十六日 夏季休業始
- 七月三十日 明治天皇祭
- 八月三十一日 天長節
- 九月十日 夏季休業終
- 秋分日 秋季皇靈祭
- 十月十七日 神嘗祭
- 十月 定期試驗
- 十月三十一日 天長節祝日、前學期終

後學期(自十一月一日至三月三十一日)

- 十一月一日 後學期始
- 十一月廿三日 新嘗祭
- 十二月 隨時試驗
- 十二月廿一日 冬期休業始
- 一月一日 四方拜
- 一月三日 元始祭
- 一月十日 冬期休業終
- 二月十一日 紀元節
- 春分日 春季皇靈祭
- 三月 定期試驗、入學試驗
- 三月三十一日 後學期終、學年終



## II 沿革略

### 大正12年

12月10日 勅令第五百一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セラル

12月10日 勅令第五百二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ次ノ通り加フル旨公布セラル

校長	一人
教授	五人
助教授	一人
書記	四人

12月11日 東京高等工學校教授福田爲造校長ニ任命セラル

12月14日 文部省告示第四百五十五號ヲ以テ本校ノ事務所ヲ文部省假事務所内ニ設置ノ旨公示セラル

### 大正13年

1月9日 文部省告示第一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ新潟縣長岡市四郎丸ニ定メ大正十三年四月ヨリ授業開始ノ旨公示セラル

2月23日 文部省令第七號ヲ以テ本校規程ヲ公示セラレ同日本校規則制定ノ件許可セラル

2月23日 文部省告示第六十二號ヲ以テ本校事務所ヲ三月十日新潟縣長岡市四郎丸ニ移轉ノ旨公示セラル

3月18日 ヨリ第一回入學者選抜試験ヲ本校及東京物理學校ニ於テ行フ

3月26日 電氣工學科四十名、機械工學科三十七名、應用化學科三十六名入學許可ヲ發表ス

4月12日 第一回入學宣誓式ヲ舉行ス

入學者決定人員	電氣工學科	四十名
	機械工學科	三十三名
	應用化學科	三十六名

5月16日 勅令第二百二十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「五人」ヲ「九人」ニ助教授「一人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

9月1日 本校々舎第一、第二期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

11月11日 本校規則中一部改正ノ件許可セラル（入學資格ニ關スル件）

### 大正14年

3月18日 ヨリ第二回入學者選抜試験ヲ本校及東京高等師範學校、岡山縣立工業學校ニ於テ行フ

3月19日 本校規則中一部改正ノ件許可セラル（授業料ニ關スル件）

3月24日 電氣工學科、機械工學科ニ各三十五名、應用化學科ニ三十名入學許可ヲ發表ス

4月1日 勅令第八十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授「五人」ヲ「四人」ニ改正ノ旨公布セラル

4月11日 第二回入學宣誓式ヲ舉行ス

入學者決定人員	電氣工學科	三十四名
	機械工學科	三十一名
	應用化學科	二十八名

6月3日 勅令第二百十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「九人」ヲ「十六人」ニ助教授「四人」ヲ「七人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

9月3日 本校規則中一部改正ノ件許可セラル（學科課程中時間割變更ニ關スル件）

12月25日 逓信省告示第二千三十三號ヲ以テ「電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第四項ノ學校及其ノ卒業生ノ資格」ニ本校ヲ追加セラル



### 大正15年

1月14日 本校々舎第三、第四期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

3月23日 ヨリ第三回入學選抜試験ヲ本校、東京高等師範學校及北海道帝國大學ニ於テ行フ

3月30日 電氣工學科三十八名、機械工學科三十九名、應用化學科三十五名入學許可ヲ發表ス

4月10日 第三回入學宣誓式ヲ舉行ス

入學者決定人員	{	電氣工學科	三十六名
		機械工學科	三十四名
		應用化學科	三十三名

### III 規 則

{	大正	13.	2	制定
	同	13.	11	改正
	同	14.	9	同
	同	14.	3	同

#### 第一章 總 則

第1條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ心身健全ニシテ高等ノ工業的技術ニ通スル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第2條 本校ニ次ノ學科ヲ置ク

電氣工學科

機械工學科

應用化學科

第3條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第4條 本校ニハ研究生、選科生、聽講生及別科ヲ置クコトアルヘシ

研究生、選科生及聽講生ニ關シテハ別ニ規定アル場合ヲ除ク外

本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

別科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第5條 本則施行ニ要スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

#### 第二章 學科課程

第6條 各學科ノ學科目及其ノ程度次ノ如シ



電氣工學科

學 科 目	第一學年每 週教授時數		第二學年每 週教授時數		第三學年每 週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	3	3	2	2
物理學	3	5	3		2	2
物理學實驗			3	3		
化學	3	2				
化學實驗	3	3				
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概說	2					
材料力學			2	2		
金屬材料		2				
機械工作法	3					
水力及水力機			2	2		
熱機		2	1			
電氣理論	2	2	2		1	2
電氣磁氣測定		2	2			
電氣機械及設計			3	3	3	3
電氣材料及器具				3		
發電所及變電所					2	2
送電及配電					2	2
電燈及照明				2		
電氣鐵道				3		
電信及電話					2	1
電氣化學及電池					2	2
讀書攻究			2	2	2	2
特別講義						
設計及製圖	8	4	4	4	4	4
實驗實習		4	4	4	6	6
合計	39	39	39	39	39	39

機械工學科

學 科 目	第一學年每 週教授時數		第二學年每 週教授時數		第三學年每 週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	3	3	2	2
物理學	3	5	3	3	2	2
物理學實驗			3	3		
化學	3	2				
化學實驗	3	3				
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概說	2					
各種機械概說		2				
材料力學			2	2	2	
金屬材料		2	2			
機械工作法	2	2				
水力及水力機			2	2	2	2
機構學			2			
熱力學				2		
汽機			2			
蒸氣機關(タービン)				2	1	
內燃機關					2	2
機械設計			2	2	1	
實驗工學				2		
電氣工學					2	2
讀書攻究			2	2	2	2
特別講義						
設計及製圖	11	4	3	3	6	6
實驗實習		6	5	5	6	10
合計	39	39	39	39	39	39



應用化學科

學 科 目	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	2	2	1	1	2	2
體操	3	3	3	3	3	3
外國語	4	4	4	4	3	3
數學	6	4	2	2		
物理學	3	5	3	3	2	2
物理學實驗			3	3		
工業經營						3
法制經濟					2	
工場建築					1	
原動機概説	2					
機械工學通論			3	3		
機械製圖			2	2	3	3
電氣工學					2	2
鍍物學		2				
無機化學	4	4				
有機化學	4	4				
物理化學			4	4		
應用電氣化學					2	2
製造化學通論			4	4	2	2
製造化學特論					4	4
讀書攻究			2	2	2	2
特別講義						
實驗實習	11	11	8	8	11	11
合計	39	39	39	39	39	39

各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ學科目ノ總教授時數ヲ短縮セサル範圍ニ於テ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ、必要ニ應シ休業期間其ノ他便宜ノ時ニ於テ臨時講義又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第三章 學年、學期及休業日

第7條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第8條 學年ヲ分チテ次ノ二學期トス

前學期 四月一日ヨリ十月三十一日マテ

後學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ

第9條 休業日ハ次ノ如シ

祝日、大祭日

日曜日

本校記念日

春季休業日 四月一日ヨリ四月七日マテ

夏季休業日 七月十六日ヨリ九月十日マテ

冬季休業日 十二月二十一日ヨリ一月十日マテ

第四章 入學、在學、退學

第10條 入學ノ期ハ學年ノ始トス

第11條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ入學檢定ニ合格セルモノタルヘシ

1、中學校ヲ卒業シタル者

2、實業學校ヲ卒業シタルモノ、但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

3、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

4、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者



第12條 中學校又ハ實業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日マテニ卒業ムヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ニシテ其ノ學校ヲ卒業シ能ハサル者ニハ入學ヲ許可セス

第13條 入學志願者ニ對シテハ其ノ心身ニツキ入學檢定ヲ行フ  
入學檢定ハ學力試験、身體検査及人物能力検査ノ三トス、但シ學力試験ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

學力試験ハ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ  
其ノ試験學科目ハ別ニ之ヲ定ム

第14條 入學志願者ハ第2條ニ掲ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ定メ入學願書ニ寫眞及入學檢定料ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第15條 入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人連署ノ在學證書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ  
保證人ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第16條 本校退學者ニシテ再入學ヲ願出ツルトキハ收容ノ餘裕アル場合ニ限り詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第17條 學生ハ別ニ定ムル所ノ服制ニ依ルヘシ

第18條 疾病其他已ムヲ得サル事由ニ依リ久シキニ亙リ修業シ能ハスト思料スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

休學中ノ者其ノ期間ヲ經過シタルトキハ速ニ原級ニ復歸スヘシ  
休學中ノ者ニシテ其ノ事由消滅シタルトキハ復校ヲ願出テ又ハ許可ヲ得テ一學科目若ハ教學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

第19條 疾病其他已ムヲ得サル事由ニヨリ退學セントスルトキハ別ニ定マル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第20條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非レハ他ノ學校ニ入り又ハ各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

第21條 次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ學籍ヲ除ク、但シ第2

號ハ休學ノ者ニハ之ヲ適用セス

- 1、 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 2、 二箇年間同級ニ停リテ尙ホ進級セサル者
- 3、 學力劣等若ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 4、 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
- 5、 授業料其他ノ納金ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ尙ホ之ヲ納付セサル者

## 第五章 表彰及懲戒

第22條 品性、學業及健康上他ノ學生ノ模範トナルヘキ者ハ學年ノ終リニ於テ表彰スルコトアルヘシ

第23條 學校ノ内外ヲ問ハス學生タルノ本分ニ背戻セリト認ムヘキ行爲アル者ハ戒飾ヲ加ヘ又ハ停學、放校ニ處ス

## 第六章 修業及卒業

第24條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第25條 前條ノ考査ニ合格セル者ハ之ヲ進級センメ不合格ノ者ハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム

第26條 已ムヲ得サル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者所定ノ期間内ニ追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第27條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒者證書ヲ授與ス

第28條 第三學年ノ終末ニ於ケル成績考査ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ前項修業證書受領者ニシテ別ニ定ムル成績考査ニ關スル細則ニ據リ後日願出タルトキハ再考査ヲ行ヒ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第29條 成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

## 第七章 研究生

第30條 本校卒業者若ハ之ト同等以上ノ學力經驗アリト認メラレタル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツ



キ研究セントスル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内  
在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第31條 研究生ハ學年ノ中途ニ於テモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第32條 研究生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第33條 研究生其ノ研究事項ヲ了リタルトキハ研究報告書ヲ學校  
長ニ差出スヘシ

第34條 學校長ハ研究成績ヲ考查シ必要アルトキハ研究證明書ヲ  
交付ス

### 第八章 選科生

第35條 本校所定ノ一學科目若ハ數學科目ヲ選擇履修セントスル  
者ニハ收容ノ餘裕アルトキニ限り詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ  
許可スルコトアルヘシ

第36條 選科生ノ在學期間ハ三年以内トス

第37條 選科生ハ學年ノ中途ニテモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第38條 選科生トシテ入學ヲ願出ツルコトヲ得ルモノハ次ノ各號  
ノ一ニ該當スル者タルヲ要ス

- 1、三年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ従事セル者
- 2、實業學校卒業者
- 3、中學校卒業者
- 4、本校別科卒業者

第39條 選科生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第40條 選科生學修ヲ終リタルトキハ成績ヲ考查シ修了證書ヲ授  
與ス

### 第九章 聽講生

第41條 本校各學科ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者アルト  
キハ詮議ノ上隨時聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第42條 聽講生ハ聽講料ヲ納付シ聽講券ノ交付ヲ受クヘシ

第43條 聽講生ハ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

### 第十章 入學檢定料、授業料 聽講料及實驗實習費

第44條 入學檢定料ハ金五圓トス

第45條 本科生及研究生ノ授業料ハ一學年金六拾五圓トシ次ノ二  
期ニ分チ毎學期始業日ヨリ一週間以内ニ納付スヘシ、但シ定日  
以後入學セル者又ハ休學事故止ミ出席セル者ニツキテハ八月分  
ヲ除キ一ヶ月金六圓五拾錢ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業  
料ヲ指定ノ期日ニ一時ニ納付セシム

前學期 金參拾五圓

後學期 金參拾圓

第46條 選科生ノ授業料ハ一學年一學科目ニツキ金拾圓トシ每學  
年始業前ニ納付スヘシ

第47條 聽講生ノ聽講料ハ一學科目一年ニツキ金拾圓トシ聽講券  
ノ交付ヲ受クル際之ヲ納付スヘシ

第48條 研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ一部  
若ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第49條 次ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徴收セス

- 1、休學中ノ者
- 2、大正四年三月文部省令第七號實業教員養成規程ニ依リ卒業  
後實業學校ノ教職ニ従事セントスル者ニシテ授業料ヲ免除セ  
ラレタル者
- 3、明治四十年文部省令第二十三號實業專門學校委託生規程ニ  
依ル委託生

第50條 各學期始業前退學若ハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ  
徴收セス

第49條第2號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ  
授業料徴收ヲ猶豫ス

第51條 研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若  
ハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ



第52條 既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル  
費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

## IV 細 則

### 1. 學生ニ關スル規程 (大正13.4制定)

第1條 學生ハ本校教育ノ趣旨ヲ體シ其ノ本分ヲ全ウセンコトヲ  
期スヘシ

第2條 各學級ニ學級總代二名ヲ置キ其學級ヲ代表セシム  
學級總代ハ其ノ學級生ノ互選ニヨル候補者中ヨリ校長之ヲ任命  
シ任期ハ一ケ年トス、但シ第一學年ニアリテハ入學ノ當初ハ校  
長之ヲ選任シ六月前記ノ手續ニヨリテ之ヲ選定ス  
學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ總代タルヲ得ス

- 1、學業成績不良ニヨル原級者
- 2、前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタ者
- 3、受罰中ノ者
- 4、平素出缺常ナラス或ハ缺席日數多キ者
- 5、其他役員トシテ不適當ト認メラレタル者

第3條 遲刻缺課又ハ缺席シタル者ハ直ニ學生課ニ届出ツヘシ

第4條 病氣缺席一週間以上ニ及フ者ハ醫師ノ病狀報告ヲ添ヘテ  
學生課ニ届出ツヘシ

第5條 校内ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食又ハ喫煙スヘ  
カラス

第6條 掲示ヲナサントスルトキハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第7條 集會ヲ催サントスルトキハ豫メ其目的時日場所會費ヲ申  
出テ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第8條 學校長ノ許可ナクシテ團體ヲ組織スルヲ得ス

第9條 金錢物品ヲ紛失又ハ拾得シタルトキハ直ニ學生課ニ届出  
ツヘシ

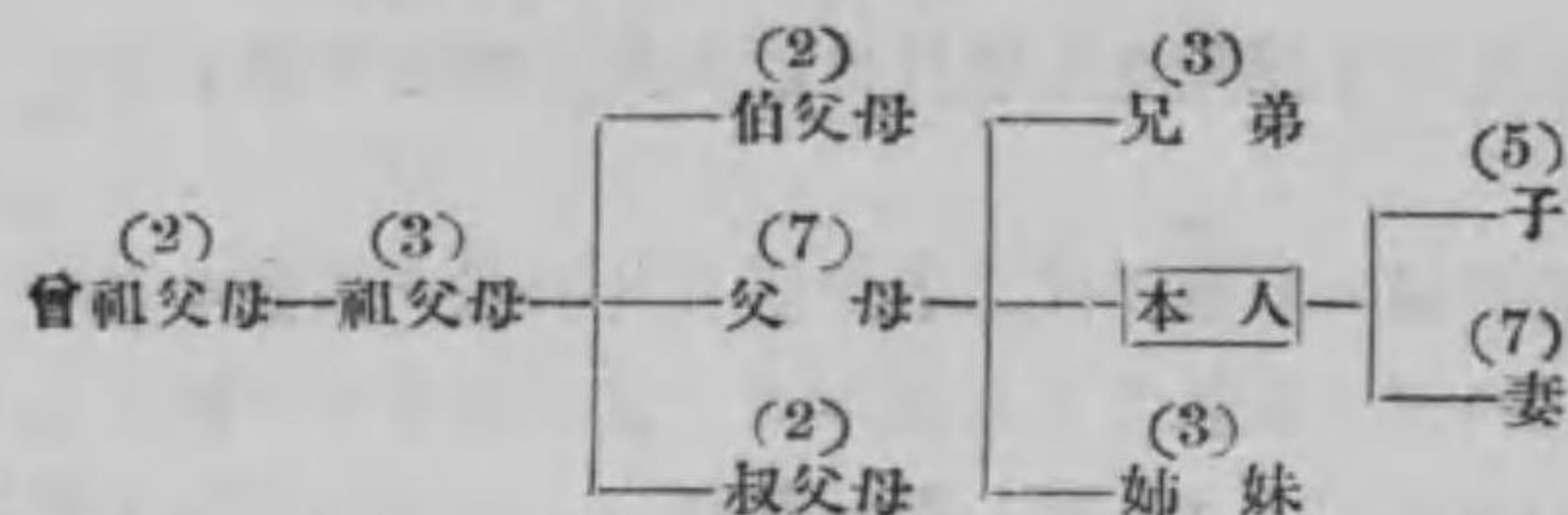
第10條 宿所ヲ變更シタル時ハ直ニ學生課ニ届出ツヘシ

第11條 願書、届書ハ特ニ規程アルモノ、外ハ總テ校長宛ニ認メ  
學生課ニ差シ出シ其ノ指揮ヲ受クヘシ



願書届書ノ様式又ハ用紙ハ學生課ニ備付アレハ必要ニ應シ該課ニ請求スヘシ

### 學生忌引表



父母トハ實父母、養父母、繼父母ニシテ配偶者ノ父母ハ含マス  
配偶者ノ父母ハ五日トス

## 2. 成績考查細則 (大正13.10制定)

### 第一章 總 則

- 第1條 學生ノ成績ハ本校規則及本細則ニヨリ之ヲ考查ス
- 第2條 學生ノ成績ハ學期成績及學年成績ヲ考查ス
- 第3條 學期成績ハ各學科目ノ總平均點並ニ各學科目ノ點數ヲ考查ス
- 第4條 各學科目ノ學期成績ハ該學期間ニ行ヒシ試驗點並ニ平常點ヲ各受持教官ニ於テ適當ニ平均シテ評點ス、但シ體操、製圖、實驗實習ハ受持教官ニ於テ適當ナル方法ニヨリ評點ス、定時試驗ノ際此等學科目中試驗ヲ行フモノハ受持教官ヨリ教務課ニ通知シ學生ニ豫告スヘキモノトス
- 第5條 學年成績ハ前後兩學期成績ノ平均點ヲ以テス
- 第6條 各學科目ノ評點ハ一百ヲ滿點トシ正整数ヲ以テ表ハス  
總學科目ノ平均點並ニ學年成績ハ平均ノ際計算ハ小數第一位迄ヲトリ之ヲ四捨五入ス  
學年成績總點數ハ各學科目學年點ノ總和トス

第7條 成績ハ左ノ評語ヲ以テ表ス

- A (100—85)    B (84—60)    C (59—50)
- D (49—40)    E (39—25)    F (24—0)

第8條 試驗ハ少クとも毎學期二回次ノ如ク筆答試驗ヲ執行ス  
但シ此他平常試驗ハ各受持教官ノ考ニヨリ隨時之ヲ行フコトヲ得

前學期 { 六月末日迄隨時 前學期末定時 } 後學期 { 十二月二十日迄隨時 後學期末定時 }

第9條 第8條ノ試驗ニ應セザリシ學科目ノ成績ハ零點トス、但シ受験不能ノ理由學校長ニ於テ正當ナリト認メタル者ハ追試驗ヲ受クルヲ得

第10條 前學期末ニハ期日ヲ定メ各學科受持教官ヨリ各學生成績ヲ教務課ニ報告シ該課ニテ整理ノ上學生ニ評語ヲ以テ公表ス

第11條 學年末ニハ期日ヲ定メ各學科目受持教官ヨリ各學生成績ヲ教務課ニ報告シ該課ニテ之ヲ整理シ、教官會議ノ議ヲ經テ校長之ヲ裁定シ後教務課ヨリ評語ヲ以テ學生ニ公表ス

第12條 夏期休暇、冬期休暇前ニ於テ分明セシ成績ハ各受持教官ヨリ之ヲ教務課ニ報告シ尙便宜學生ニ向ヒ評語ヲ以テ之ヲ發表シ注意ヲ與フ

### 第二章 合格、不合格、假進級及修業

第13條 各學科目ノ點(以上總學科目ノ平均點 B 以上)ノモノハ學業成績合格トス

第14條 學業成績合格セルモ平素出缺常ナラス又ハ缺席日數多ク或ハ素行修マラサルモノハ進級又ハ卒業セシメス

第15條 第13條ノ資格ヲ缺クモ總學科目ノ平均 B' 以上ニシテ E' ノモノ一科目又ハ D' ノモノ二科目以内ノトキニハ第一第二學年ニ於テハ特ニ假進級セシメ其ノ E' 又ハ D' ノ科目ニ關シ再試驗ヲ行ヒ第三學年ニ於テハ修業證書ヲ與フ、但シ本人ヨリ原級課程ノ再修ヲ願出ヅルコトヲ妨ケス

體操、製圖、實驗實習ニハ之ヲ適用セス、但シ之等ノ學科目中特ニ試驗ニヨリテ評點セントキハ前項ヲ適用ス

第16條 第三學年學年成績ニ於テ各學科目 C 以上ニシテ總平均 C



ノモノニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ與フルコトヲ得

第17條 第15條ニヨリ修業證書ヲ得タルモノハ願出テニヨリ不合格ノ學科目ニ關シ第24條ノ時期ニ於テ再試験ヲ受クルコトヲ得第25條ハ此場合ニモ適用ス

### 第三章 追 試 験

第18條 第8條ノ試験ニ應スル能ハサル者ハ試験前ニ其事由ヲ詳記シ追試験ヲ願出ツヘシ不慮ノ事故發生ノタメ右ノ願出ヲナシ能ハサルモノハ試験後三日以内ニ本人若クハ保證人又ハ友人ヨリ之ヲ願出ツヘシ

右ノ期限内ニ願出サル者ハ追試験ヲ受クルヲ得ス不受験ノ事由病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ附スルヲ要ス

第19條 追試験ハ當該試験執行後三十日以内ニ之ヲ執行ス、但シ校長ニ於テ特別事情ヲ認メタルトキハ特ニ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第20條 追試験ノ成績ハ徵兵關係、忌引又ハ校長ニ於テ認メタル者ノ他ハ得點ヨリ $\frac{2}{10}$ ヲ引キタルモノヲ以テ評點トス

第21條 後學期定期試験ニ缺席シ追試験ヲ受クルモ合格覺束ナキコト明ナル者ニハ追試験ヲ行ハスシテ原級ニ留ム第一第二學年ニ於テ合格ノ見込アルモノハ假進級セシメ第24條第一回ノ再試験ノ時期ニ追試験ヲ行フ其結果(イ)第13條ニ適スル者ハ進級ヲ確認ス但シ席次ハ列外ニ置ク(ロ)第15條ニ當ル者ハ第24條第一回ノ試験ヲ省キ第二回再試験ノミヲ受ケシメ其結果ニ關シテハ第26條第27條ヲ適用ス(ハ)第13條第15條ニ該當セサルモノハ假進級ヲ取消シ原級ニ編入ス

第22條 第三學年生ニシテ第21條ニ示ス場合ニ逢着セシトキハ同條ニ示ス假進級ニ代フルニ修業證書ヲ與フルコトヲ以テシ進級確認ニ代フルニ卒業證書ヲ與フルコトヲ以テス尙第16條ハコノ場合ニモ適用ス

### 第四章 再 試 験

第23條 再試験ハ前學年間ニ於テ履修セシ全部ニ亘リ一度ニ行フモノトシ筆記、口述何レノ試験ニヨルモ妨ケス

第24條 再試験ハ成績不良ナリシトキノ次ノ學年ノ左記二期ニ於テ之ヲ行フ

第一回 四月下旬 第二回 九月上旬

第25條 第一回ノ再試験ニ合格セサルモノ又ハ止ムヲ得サル事情ノタメ受験シ得サルモノハ豫メ其旨届出テ第二回再試験ニ應スルコトヲ得

第26條 第二回再試験ニテ合格セサルトキハ假進級ヲ取消シ原級ニ編入ス

第27條 再試験ニ及第タルトキハ進級ヲ確認シ其點ヲ原級學年點トシ總平均點ヲトル、但シ席次ハ列外ニ置ク

第28條 第15條ノ修業者ニシテ再試験ノ結果各學科目共合格セシトキハ卒業ヲ確認シ卒業證書ヲ與フ

不合格ノトキハ本人ノ希望ニヨリ再試験施行ノ年度ニ限り第三學年ニ入學ヲ許可ス

第29條 再試験ハ其學科目ニ對スル前學年ニ於ケル受持教官カ之ヲ行フモノトシ其教官不在又ハ止ムヲ得サル事情アルトキハ校長ヨリ適當ナル教官ニ命シテ之ヲ行ハシム

### 第五章 原 級 者

第30條 學年成績不合格ナリシモノ原級課程ヲ再修スルニ當リ前年度ニ於テB以上ヲ得タル學科目ニ對シテハ受持教官ノ意見ニヨリ校長ノ許可ヲ得テ其學科目ニ出席ヲ免除スルコトヲ得此場合成績點數ハ前年度ノモノヲ以テス、但シ本人ノ希望ニヨリ試験ヲ受ケタル場合ハ前後比較シテ高キ點ヲトル

右ノ出席免除者ハ他ノ學科目ニ出席セシムルカ圖書館、實驗實習場其他適當ナル場所ニ於テ特別ノ研究若クハ自習ヲナサシメ又ハ宿題論文ヲ課シ或ハ其他ノ方法ニヨリ之ヲ指導ス



第六章 補 則 (成績考査細則)

第31條 成績ハ各學期毎ニ評語ヲ以テ各學科目、總平均並ニ席次ヲ學生各別ニ記入セル成績表ヲ作製シ之ヲ學生ト代表保證人トニ交付發表ス、一表トナシ全般ニ發表スルコトヲナサス

第32條 席次ハ上位ヨリ五人宛ヲ一組トシ次ノ形式ヲ以テ示ス但シ最後ノ組ノ人數二人以内ノ場合ハ其ノ上位ノ組ニ合セ七人若クハ六人組ヲ作ルモノトス

1 ~ 5	コレハ四十人中ノ一番ヨリ五番マテノ席次ニアルコトヲ示ス
40 - 3	-3ハ40人中試験ヲ受ケサル者三名アルノ意ナリ

第33條 評點ハ之ヲ發表セサルモ上級官廳並ニ父兄保證人等ヨリ問合セアリテ教務課ニ於テ發表ノ必要アリト認ムル場合ハ校長ノ承認ヲ經テ之ヲ爲ス

第34條 前學期末ニ教官ヨリ教務課ニ報告スル成績ハ夏期休暇前ノ分ヲモ參酌シタル前學期成績ヲ報告スルモノトス  
學年末ニ教官ヨリ教務課ニ報告スル成績ハ冬期休暇前ノ分ヲモ參酌シタル後學期成績ヲ報告スルモノトス

3. 學生服裝規程

第1條 本校學生ノ服制次ノ如シ

1. 制 帽

地 質 黒 絨  
型 海軍型(略圖參照)  
帽 章 雪模様ノ中心ニ高工ノ二字ヲ打出ス  
(略圖參照)

眼 庇 黒 革  
紐 黒 革

2. 制 服(冬衣ハ十月一日ヨリ着用)  
(夏衣ハ六月一日ヨリ着用)

上 衣

地 質 冬 衣 黒又ハ紺(サージ、ヘル)  
夏 衣 鼠色(セル、ポーラー)  
型 背廣折襟型(略圖參照)  
胸釦及袖釦 (略圖參照)

チ ョ ツ キ

地 質 冬上衣ニ同シ(夏ハ用ヒス)  
型 普 通

ズ ボ ン

地 質 夏冬共上衣ニ同シ  
型 長ズボン

其 他

カ ラ ー ダブル  
ネ ク タ イ 黒色無地  
ワ イ シ ャ ッ 白色無地

3. 外 套

地 質 適 宜  
型 マント又ハオパークコート

4. 靴

地 質 黒 革  
型 編ミ上ケ又ハ深ゴム

5. 略 帽

地 質 麥 稈  
型 一文字形黒リボン(略圖參照)  
帽 章 帽章ハリボンノ結目ニ附ス

6. 作 業 服

機械、電氣工場用

地 質 鼠色霜降小倉  
型 上 衣 (略圖參照)  
ズボン 長ズボン



化學實驗用

地質 白綾小倉  
型 (略圖参照)

教練用

地質 鼠色霜降小倉  
型 上衣(略圖参照)  
ズボン 長ズボン

第2條 本校學生正規ノ服裝ヲ正装ト名ツク

第3條 正装ハ制服ヲ着ケ上衣ノ釦ヲカケ制帽ヲ冠リ黒革靴ヲ穿ツモノトス

第4條 儀式ノ際ハ正装スヘシ

第5條 教室ニ入リテ授業ヲ受ケル際ハ制服ヲ着用シ實習、化學實驗又ハ教練ニ際シテハ作業服ヲ着用スルヲ本則トス

第6條 略装ニテ登校セントスル者ハ其ノ都度學生課ニ届出ツヘシ、但何等ノ場合ヲ問ハズ和服ニテ作業服ニ代用スルコトヲ許サズ

第7條 夏期ト雖モ體操教練時ニハ略帽ノ着用ヲ禁ス

第8條 新入學生ハ入學後一ヶ月以内ニ本規程ノ服裝ヲ調フヘシ、但制帽ニ限リ一週間以内トス

附 則

入學前使用セル被服ニシテ本校所定ノ服制ニ適合セシメ得ヘキモノハ之ヲ着用スルコトヲ得、但シ一應學生課ニ承合スヘシ

4. 保證人規程

第1條 本校ヨリ入學許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ規定ノ出校日ヨリ五日以内ニ保證人ヲ定メ其ノ連署ヲ以テ別紙様式ニ依リ在學證書ヲ差出スヘシ

第2條 保證人ハ學生ノ近親者若クハ學校長ノ承認シタル成年者ニシテ學生ニ關スル一切ノ責任ヲ負フモノタルヘシ、但シ保證

人中ニハ男子ノ有ルコトヲ要ス

第3條 保證書中記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ届出テ又保證人ノ變更ヲ要スル場合ハ新ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第4條 必要ニ應ジ學校長ハ別ニ保證人代理ヲ立テシムルコトアルヘシ

(様式)

在 學 證 書

長岡高等工業學校長福田爲造殿

私は此度長岡高等工業學校に入學を許されましたことを大變に嬉しく思ひます親兄弟はもとより親族知人まで私の爲めに祝福して居ります

私は學校の皆様方ノ御教導により勉學修養心身の涵養に努め學友ミ力を協せ共に共に研鑽につこめ立派に入學の目的を達する様努力するこゝを茲に誓ひます

學 科 名	
氏 名	Rôhazi 漢 字
	印

上の者が此度御校に入學を許されましたことは私共の衷心から悦ぶ次第で御座います。

就きましては御校の皆様方が當人を鞭撻教育し當人が心身健全で高等の工業的技術に通ずる社會必要の人となる様御教導の程御願ひ申上ます、私共も今後當人を充分督勵しまして勉學修養入學の初一念を貫徹させ以て學校の教育目的に副ふ様一同舉つて御校に協力致します

申す迄もなく當人ニ學校との間に起る凡ての事柄につきましては私共が責任を負ふて御引受致します

大 正 年 月 日



代表 保證 人	原籍	Rômazi 漢字	
	住所	Rômazi 漢字	
	氏名	Rômazi 漢字	印
	職業		
	學生トノ續柄		
其 ノ 他 ノ 保 證 人	學生トノ 續柄	氏名	學生トノ 續柄

注意

- I 保證人としては單に形式的に一人が捺印されるよりも父母兄弟などが學生の成業を希望さるゝ意味を以て家族親戚が保證人として茲に多く署名さるゝことを學校は望みます
- II 本文をよく読んで各自署名して下さい、但し Rômazi の所は學生に書かせてもよろしい
- III 文字は總てペン書きのこと

5. 校務分掌規程 { 大正13.4制定 }  
 { 同 13.11改正 }  
 { 同 14.3同 }

第一章

- 第1條 各科ニ科長ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス
- 第2條 次ノ各科目ニ擔任教官二名以上アルトキハ代表者一名ヲ主任トシ其ノ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス、但シ電氣工學、機械工學、化學ニ關スル諸學科目ノ代表者ハ夫々電氣工學科長、機械工學科長及應用化學科長ヲ以テ之ニ充ツ
- A 修身
- B 體操
- C 外國語

- D 數學
- E 物理學及物理學實驗
- F 工業經營
- G 法制經濟
- II 工場建築
- I 電氣工學ニ關スル諸學科目
- J 機械工學ニ關スル諸學科目
- K 化學ニ關スル諸學科目

第3條 學校長ヲ補佐シ校務ヲ整理スル爲メ必要アルトキハ幹事一名ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第4條 一般事務ヲ分掌スル爲メ左ノ六課ヲ置ク

庶務課 會計課 教務課  
 學生課 圖書課 調査計畫課

各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

學生課ノ事務ハ生徒監之ヲ管理ス

第5條 學校長ノ諮詢ニ應ヘ又ハ校務ヲ審議シ統一ヲ圖ル爲メ次ノ會議ヲ開クコトアルヘシ

商議委員會

評議員會 幹事、生徒監、各科長、學科目主任中ヨリ委員ヲ命シ校長之ヲ召集ス

職員會 審議ノ内容ニ依リ關係職員ノミヲ召集スルコトアルヘシ

第6條 學校衛生ヲ掌理スル爲メ學校醫ヲ置ク

學校衛生ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ諮詢ニ答ヘ其他重要ナル學校衛生事務ニ參與セシムル爲メ必要ニ應シ衛生顧問ヲ置ク

第7條 事務分掌ノ如何ニ關セス必要ニ應シ別ニ委員ヲ設ケ之ヲ處理スルコトアルヘシ

第二章 事務分掌

第一節 總則



第8條 校務ハ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ施行スルコトヲ得ス、但シ重要事項ニアラスシテ常例ニ係ルモノ又ハ特ニ學校長ヨリ委任セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第9條 事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關聯各課ニ合議スルヲ要ス

第10條 各課所定ノ事務ノ外必要ニ應シ臨時事務ヲ命スルコトアルヘシ

第11條 各課ノ事務ニシテ繁忙ノ際ハ他課員ノ助力ヲ乞フコトヲ得

第12條 本校ノ事務ニシテ所屬不明ノモノアリタル場合ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ其ノ所屬ヲ定ム

第13條 本校ノ事務中例規ニ關スル事項ハ必ス庶務課ニ回議スヘシ

第14條 左記事項ハ各課ニ於テ分掌スヘシ

- 1、 其ノ課ニ屬スル細則制定改廢ニ關スルコト
- 2、 年中行事ヲ作製スルコト
- 3、 其ノ課記録ニ關スル事項
- 4、 其ノ課所屬ノ文書起案並文書帳簿整理保存ニ關スル事項
- 5、 其ノ課員ノ事務分掌
- 6、 前各號以外ノ其ノ課ニ屬スル一般事務

#### 第二節 事務分掌

第15條 科長ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 其ノ學科ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
- 2、 其ノ學科工場ニ關スル事項
- 3、 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項
- 4、 卒業生就職ニ關スル事項

第16條 學科日主任ノ擔任スヘキ事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 其ノ學科目ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
- 2、 教授要目ニ關スル事項

3、 授業分擔ニ關スル事項

4、 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項

第17條 各教官ノ擔任スヘキ教育事務要項次ノ如シ

- 1、 生徒ノ操行勤惰成績等ニ關スル事項
- 2、 其ノ他生徒教養ニ關係アル一切ノ事項（生徒ノ訓育ニ關シテハ生徒監ト協力スルコト）

第18條 生徒監ノ擔任スヘキ事務要項次ノ如シ

- 1、 學生訓育ノ統一ニ關スル事項
- 2、 學生課ノ事務管理
- 3、 其他學生訓育ニ關スル一切ノ事項

第19條 庶務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 2、 學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
- 3、 校旗ニ關スル事項
- 4、 職員以下ノ進退身分及服務ニ關スル事項、但シ備人ノ進退ハ學校長ノ特ニ命シタル委員ノ詮議ニ依ラシムルコトアルヘシ
- 5、 文書ニ關スル事項
- 6、 諸規程内規ニ關スル事項
- 7、 校報ニ關スル事項
- 8、 儀式ニ關スル事項
- 9、 諸會議ニ關スル事項、但シ議事ノ内容ニヨリ各課ニ分屬セシム
- 10、 統計、年報、一覽及官報報告等ニ關スル事項
- 11、 寄贈願處理ニ關スル事項
- 12、 參觀人ニ關スル事項、但シ視察事項ニツキ各課ニ分屬セシム
- 13、 在外研究員ニ關スル事項
- 14、 諸證明書ニ關スル事項



- 15、 諸記録ニ關スル事項
- 16、 宿直ニ關スル事項
- 17、 警備並非常手配等ニ關スル事項
- 18、 他課ニ屬セサル一切ノ事項  
庶務課ハ別ニ定ムル様式ニ依リ庶務課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第20條 會計課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 歳入歳出豫算、決算及出納ニ關スル事項
- 2、 資金ニ關スル事項
- 3、 國有財産ノ管理及營繕ニ關スル事項
- 4、 物品ノ購買及修理ニ關スル事項
- 5、 不用物品ノ處分ニ關スル事項
- 6、 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 7、 給水、瓦斯、暖房、電燈及電話ニ關スル事項
- 8、 人夫ノ傭入ニ關スル事項
- 9、 校地校舍ノ清掃保全ニ關スル事項
- 10、 寄贈金品ニ關スル事項  
支出官印ハ學校長又ハ其ノ委任者之ヲ保管ス

第21條 教務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 學科課程並教授要目ニ關スル事項
- 2、 教官ノ授業分擔及授業時間割ニ關スル事項
- 3、 教室及教具ノ設備ニ關スル事項
- 4、 教科書、參考書並教授用印刷物ニ關スル事項
- 5、 授業及休業ニ關スル事項
- 6、 學生ノ学籍及兵役ニ關スル事項
- 7、 學生ノ學業成績並進級及卒業ニ關スル事項
- 8、 學生募集並入學ニ關スル事項
- 9、 試驗問題及答案ニ關スル事項
- 10、 成績證明及在學證明ニ關スル事項

- 11、 修學旅行及研究派遣ニ關スル事項
- 12、 校外實習ニ關スル事項
- 13、 講習會等ニ關スル事項  
教務課ハ別ニ定ムル様式ニ依リ教務課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第22條 學生課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 學生ノ訓育並風紀取締ニ關スル事項
- 2、 學生心得及服制ニ關スル事項
- 3、 學生ノ勤怠賞罰ニ關スル事項
- 4、 學生身分證明並學生乘車船割引券ニ關スル事項
- 5、 體育並衛生ニ關スル事項
- 6、 學生ノ集會ニ關スル事項
- 7、 學生ノ貸費給費ニ關スル事項
- 8、 學生ノ退學及休學ニ關スル事項
- 9、 學生ノ諸願伺及届書ニ關スル事項
- 10、 學級總代ニ關スル事項
- 11、 拾得物及遺失物等ニ關スル事項
- 12、 學生ノ宿所ニ關スル事項
- 13、 其他學生ニ關スル一切ノ事項
- 14、 卒業者ニ關スル事項  
學生課ハ別ニ定ムル様式ニ依リ學生課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第23條 圖書課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

- 1、 購入圖書ノ審査並検査ニ關スル事項
- 2、 圖書ノ保管整理出納ニ關スル事項
- 3、 圖書臺帳並目錄ニ關スル事項
- 4、 書庫閱覽室ニ關スル事項
- 5、 圖書閱覽及貸付ニ關スル事項
- 6、 寄贈圖書ニ關スル事項



7. 圖書印ノ保管ニ關スル事項

圖書課ハ別ニ定ムル様式ニヨリ圖書課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第24條 調査計畫課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

- 1. 各課ノ事務計畫ノ連絡、統一、進歩ノ爲メ必要ナル處置
- 2. 調査、研究資料ノ蒐集整理ニ關スル事項
- 3. 調査、研究、計畫等ノ發表報告ニ關スル事項
- 4. 新事業ノ計畫ニ關スル事項

調査計畫課ハ別ニ定ムル様式ニ依リ調査計畫課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第25條 學校醫ノ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

- 1. 學校醫ノ職務ニ關シテハ「學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程」第二條乃至第十條ヲ準用ス、但シ本規程ニ別段ノ定メアルモノハ此限リニアラス
- 2. 學校醫ハ毎月一回以上教授時間内ニ出校シ衛生事項ヲ視察スヘシ其他學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ
- 3. 學校醫ハ入學志願者ノ身體検査ヲナスヘシ
- 4. 學校醫ハ學校長ノ要求アリタル場合ハ職員學生傭人等ノ病症ニ對シ之ヲ診察シ又ハ診斷書ヲ作製スヘシ

第26條 各課備付重要帳簿ハ時々學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

6. 職員服務規程 (大正13.4制定)

第1條 本校ノ執務時間ハ官廳執務時間ニ依ル、但シ教官及之ニ準スル者ニツイテハ學校長別ニ之ヲ定ム

第2條 病氣其他ノ事故ニ因リ遅刻又ハ缺勤セントスルモノハ出勤時刻前ニ其旨届出ツヘシ尙缺勤七日間以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

父母ノ祭日ニ休暇セントスルモノハ其前日迄ニ届出ツヘシ

第3條 賜暇ヲ受ケントスルモノハ事由日時ヲ詳記シ旅行セント

スルモノハ事由日時及行先地ヲ具シ豫メ許可ヲ受クヘシ

第4條 出張ヲ命セラレタルモノハ出發及歸校ノ際其旨届出ツヘシ

第5條 新任者ハ本校所定ノ用紙ニ履歷書並現住所及原籍届ヲ庶務課ニ差出スヘシ

現住所並原籍ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

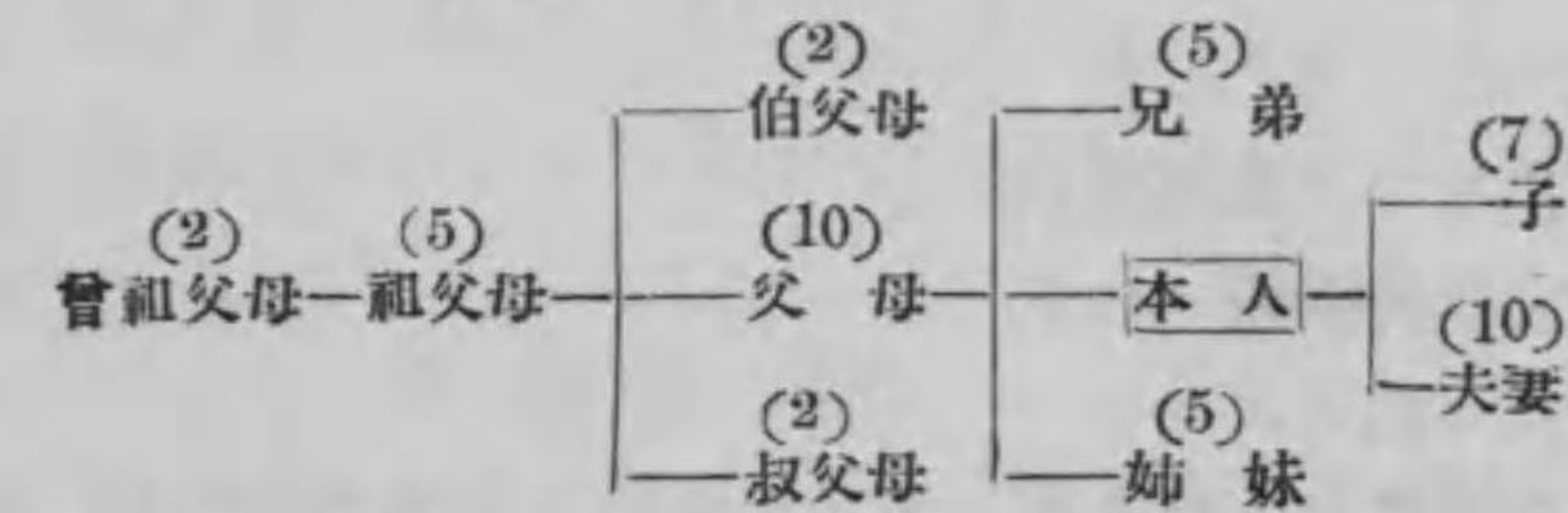
第6條 官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接ニ辭令ヲ受ケタルトキ其他履歷ニ關スル變動アルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ

第7條 他ノ囑託ニ應セントスルモノハ豫メ學校長ノ承認ヲ經ヘシ尙一定ノ報酬ヲ受クル場合ハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第8條 本校ニ非常アル場合ハ直ニ出校スヘシ

第9條 本規程ニ依リ學校長ニ差出スヘキ文書ハ總テ庶務課ヲ經由スヘシ

職員忌引表



父母トハ實父母、養父母、繼父母ニシテ配偶者ノ父母ハ含マス配偶者ノ父母ハ五日トス

7. 傭人服務規程 (大正13.4制定)

第一章 總則

第1條 傭人ハ毎朝出勤シタルトキハ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第2條 勤務時間ハ別ニ定メアルモノ、外左ノ如シ

午前八時ヨリ午後五時迄トス

第3條 病氣其他事故ノ爲出勤スルコト能ハサルトキハ登校時間



前其旨ヲ庶務課ニ届出ヘシ、但シ病氣ノ爲メ一週間以上ニ涉リ  
出勤スルコト能ハサルトキハ醫師ノ診断書ヲ添付スヘシ

第4條 傭人ハ制服ヲ着用シ容儀ヲ正シク禮儀ヲ重シ人ニ接スル  
トキハ懇切丁寧ヲ旨トスヘシ

第5條 已ムヲ得サル場合ノ外詰所ニ他人ヲ導キ又ハ猥リニ詰所  
ヲ離ルヘカラス

第6條 本校非常若クハ近火等ノ節ハ非番ノ者ト雖モ直チニ出校  
シ庶務課其他職員ノ指揮ニ従フヘシ

第7條 遺失物ヲ發見シタルトキハ速ニ庶務課ニ届出スヘシ

第8條 器物ヲ取扱フニハ總テ鄭重ヲ旨トシ毀損セサル様注意ス  
ヘシ

## 第二章 巡 視

第9條 巡視ハ庶務課ノ指揮監督ヲ受ケ水火盜難等ノ警備並門衛  
所ノ見張校舎内外及構内一般ノ取締ニ従事スヘシ

第10條 巡視ノ勤務事項ハ次ノ如シ

- 1、校門開閉
- 2、校門出入者ノ監視
- 3、校舎内外ノ巡邏警戒
- 4、各室戸締鎖鑰ノ注意
- 5、防火ニ關スルコト
- 6、非常用具類ニ對スル注意
- 7、諸定時號鐘ノコト
- 8、郵便物其他ノ受付
- 9、臨時人夫ノ監督
- 10、各室ノ時計ヲ基準時ニ合セシムルコト
- 11、其他特ニ命セラレタル事項

第11條 巡視ノ勤務時間ハ別ニ定ムル所ニヨルモノトス

第12條 校門ノ開閉ハ次ノ時限ニ依ルヘシ

正門及其ノ脇門ハ午前六時之ヲ開キ正門ハ午後五時（校長退出

後）脇門ハ午後十時之ヲ閉ルコト、但シ休日ニハ脇門ノミヲ開  
閉スルコト

第13條 物品携帶者及夜中出入ノ者ハ特ニ之カ監視ヲ嚴ニシ物品  
ノ細大ニ拘ハラヌ出門許可證ヲ檢査シ若シ所持セサルトキハ出  
門ヲ差止メ庶務課職員退出後ハ宿直員ノ指揮ヲ受クヘシ、但シ  
常ニ出入ノ者ニシテ疑ナキモノハ此限ニアラス

第14條 暖爐及火鉢ヲ用フル間ハ殊ニ火ノ元ヲ警戒シ職員學生々  
徒ノ退出後火ヲ滅シタルトキハ之カ檢査ヲ行ヒ更ニ一時間ヲ經  
テ宿直員立會ノ上再檢査ヲナスヘシ

第15條 夜警ハ別ニ定ムル所ニヨリ二時間毎ニ構内ヲ巡視シ火災  
盜難ノ豫防ニ注意シ且怪シキ者ヲ認メタルトキハ直ニ之ヲ査問  
シ不審アル者ニ對シテハ宿直員ノ指揮ヲ受クヘシ且各巡行函ニ  
巡行ノ證ヲナスヘシ、但シ巡視監査器ノ監査ハ庶務課ニ於テ受  
クルモノトス

第16條 荷物及郵便物ハ受付簿ニ記入ノ上其ノ都度庶務課ニ引繼  
クヘシ、但シ退出後又ハ祭休日ニハ宿直員ニ引繼クヘシ

第17條 門衛室ニハ職員以外ノ者ヲ立寄ラシムルヘカラス

第18條 巡邏中及其他ノ事項ハ日記ニ記載シ翌日庶務課ニ差出ス  
ヘシ

## 第三章 給 仕

第19條 給仕ハ庶務課ノ指揮ニ従ヒ受付其他雜務ニ従事スヘシ

第20條 給仕ハ常ニ行儀作法ヲ正シ職員又ハ外來者ニ對シ丁寧親  
切ヲ旨トスヘシ

第21條 給仕ハ妄リニ其席ヲ離ルヘカラス

## 第四章 校 丁

第22條 校丁ハ庶務課ノ指揮監督ヲ受ケ校舎内外ノ掃除其他雜役  
ニ従事スヘシ

第23條 校丁職務次ノ如シ

- 1、教室、事務室、其他建築物内外ノ掃除



- 2、降雪ノ時ハ構内通路ノ差支ナキ様除雪スルコト
- 3、雨戸ノ開閉及戸締
- 4、水湯並ニ炭火ノ供給
- 5、出火近火ノ節ハ職員ノ指揮ニ從ヒ消火並ニ防備ニ務ムヘキ事
- 6、以上ノ外特ニ命セラレタル事項

第24條 校丁ハ別ニ定ムル處ニヨリ輪番ニ宿直スヘシ

第25條 火鉢、ストーブヲ備付クル各室ハ毎日使用時間後嚴密ニ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ掃除シ置クヘシ  
宿直者ハ其ノ日誌ニ其ノ姓名及取扱ヒタル要件ヲ記載シ翌朝庶務課ノ檢閲ヲ受クヘシ

#### 8. 文書處理規程 (大正13.4制定)

第1條 學校宛又ハ校長宛ノ公文書ハ庶務課ニ於テ接受開封シ文書番號簿ニ登録シ收受ノ番號及月日ヲ記入ノ上直ニ主務課ニ配付スヘシ

第2條 收受シタル文書ハ主務課ニ於テ審議調査ノ上處分案ヲ具シ校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第3條 回議書ハ一定ノ紙ヲ用フヘシ、但シ事ノ輕易ナルモノハ回議書ニ依ラス本書ノ餘白ニ文案ヲ朱記シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第4條 他課ニ關聯スル文書ハ其ノ課ニ合議又ハ回覽スヘシ

第5條 決裁ヲ要セサル文書ハ校長ノ閱覽ニ供スヘシ

第6條 校長ニ提出ヲ要スル文書ハ庶務課ヲ經由スヘシ

第7條 發送ヲ要スル決裁済ノ文書ハ淨寫校合シ其ノ回議書ヲ添ヘ庶務課ニ送付スヘシ

第8條 凡テ發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ於テ文書番號簿ノ番號ヲ附シテ發送ノ手續キヲナシ回議書ニハ施行月日及番號ヲ記入シテ主務課ニ返付スヘシ

第9條 同一事件ノ往復文書ハ必ス合綴シ終始同一番號ヲ用フヘシ

シ  
第10條 機密ニ屬スル文書ノ取扱ハ本規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第11條 發送又ハ收受ノ文書中指令又ハ回答等ヲ要セサルモノハ庶務課ニ於テ文書番號簿ニ「發切」又ハ「受切」ト記シテ其ノ區別ヲ明カニスヘシ

第12條 處分済ノ文書ハ各主務課ニ於テ之ヲ類別シ各類毎ニ年月日ノ順ヲ追ヒ之ヲ編綴保存スヘシ但シ文書保存期限ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

#### 9. 物品會計細則 (大正13.4制定)

##### 第一章 總 則

第1條 本校所屬物品ノ保管出納ハ總テ物品會計規則並文部省直轄學校物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第2條 物品ヲ大別シテ備品消耗品ノ二種トシ更ニ備品ヲ分チテ普通用備品、學術用備品トシ消耗品ヲ分チテ普通用消耗品、實驗用消耗品トシ其ノ區分ハ性質及用法ニ依リ學校長之ヲ定ム

第3條 各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第4條 各部局ニ於ケル物品監守者ノ監守區域ハ別ニ之ヲ定ム

##### 第二章 出納及保管

第5條 物品ノ出納科目ヲ定ムル事次ノ如シ

###### 1. 備 品

受入科目 買入、生産、保管轉入、寄贈

拂出科目 賣却、生産、亡失、毀損、保管轉出、贈與

###### 1. 消耗品

受入科目 買入、生産、保管轉入、寄贈

拂出科目 消耗、賣却、生産、亡失、毀損、保管轉出、贈與

第6條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス



第7條 各部局ニ於ケル所要物品ハ品目數量及所要ノ事由ヲ明記シタル請求書ヲ當該主任ヨリ會計課ニ差出スヘシ

第8條 前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ新ニ購入ヲ必要トスルモノハ學校長ノ決裁ヲ經テ購買ノ手續ヲ爲スヘシ

第9條 各部局ニ於テ學術用器具機械ノ製作及修理ニ就キ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ撰擇スルノ必要アルトキハ圖面及仕様書並當業者ノ氏名ヲ記載シタル書面ヲ添付シ會計課ニ差出スヘシ

第10條 物品會計官吏備品ヲ受入レタルトキハ直ニ番號ヲ附スヘシ

第11條 消耗品ハ會計課ニ於テ一年ノ所要高ヲ豫定シ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ヲ爲シ之ヲ倉庫若クハ適當ノ場所ニ藏置シ各部ノ請求ニ應ジ支給ノ手續ヲナスヘシ

第12條 物品監守者ハ備品監守簿物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備付ケ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ請求書ニ受領ノ印ヲ押捺シ受授ノ手續ヲ爲スヘシ

第13條 物品ノ出納命令及其他請求及支給ニ關スル様式ハ別ニ之ヲ定ム

第14條 物品ノ自然ニ破損シ修理及不用ニ屬シタル物品ハ各監守者ニ於テ會計課ニ修理請求又ハ返納ノ手續ヲナスヘシ  
物品會計官吏ハ之ヲ調査シ修理使用ニ堪ヘルモノハ修理交付シ不用ニ屬シタルモノハ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第15條 不用品及製產品ノ賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル、但シ賣却シタル物品ノ代價徴收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第16條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ學校長ハ事實ヲ審査シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第17條 物品監守者ハ常ニ其ノ監守物品ノ保管ニ注意シ時々帳簿ニ對照シ點檢スヘシ

若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第18條 學校長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ事實ヲ審査シ其監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出スルト認メタルトキハ相當ノ處分ヲナスヘシ

### 第三章 檢 閲

第19條 學校長ハ物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ設ケ毎年一回以上物品ノ保管使用並消費上ノ適否ヲ検査セシム

第20條 物品檢閲委員長ハ檢閲委員ヲ監督シ檢閲事務ヲ處理スヘシ、但シ學校長ノ許可ヲ受ケ各部ヨリ物品檢閲補助員ヲ命スル事ヲ得

第21條 物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ要項次ノ如シ

- 1、 物品保管ノ適否
- 2、 物品使用ノ適否
- 3、 消耗品消費ノ適否
- 4、 帳簿ノ點檢及殘存物品ノ調査
- 5、 物品缺損ノ有無
- 6、 其他必要事項

第22條 物品檢閲ノ際ハ在庫品ニ就テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就キテハ物品監守者又ハ物品取扱主任其席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第23條 物品ノ檢閲ヲ了シタル時ハ檢閲委員長ハ檢閲ノ狀況ヲ詳具シ學校長ニ申報スヘシ

### 第四章 諸 帳 簿

第24條 物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

- 1、 備品出納簿

本簿ヲ大別シテ普通用備品出納簿、學術用備品出納簿トス



## 2. 消耗品出納簿

本簿ヲ大別シテ普通用消耗品出納簿、學術用消耗品出納簿トス

第25條 物品監守者及物品取扱主任ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

### 1. 備品監守簿

### 2. 消耗品受拂簿

第26條 本則ニ依ル諸帳簿類ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第27條 圖書ノ出納ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

## 10. 圖書館規程 (大正13.4制定)

第1條 本校圖書ハ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ之ヲ處理スヘシ

第2條 本校所屬ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏ス

第3條 圖書館ニハ別ニ定ムル規定ニヨリ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管ス

第4條 次ノ圖書ハ凡テ本校所屬ノモノト同一ノ取扱ヲナス

1. 本校名義ヲ以テ他ヨリ借入レタル圖書

2. 委託保管ノ圖書

3. 各學科各教室又ハ各課ニ於テ寄附受領シタル圖書

第5條 教授上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ特別ノ場所ニ備置クコトヲ得

第6條 前條ノ圖書ニ關シテハ當該各科課各教室ニ於テ其責ニ任スル保管者ヲ定ム

第7條 本校職員、研究生、學生及第三條ノ圖書委託者其他學校長ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第8條 本校職員、研究生、學生ハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第9條 圖書ノ出納及圖書館ノ事務ハ圖書課ニ於テ取扱フモノト

ス

第10條 總テ圖書ハ次ノ如ク整理スヘシ

イ、購入ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ數量及落丁ノ有無ヲ檢シ圖書原簿ニ登録スルモノトス

ロ、寄贈ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ名稱、數量、價額若ハ評價ヲ付シ會計課ト合議ノ上圖書原簿ニ登録スルモノトス

ハ、各科課各教室ニ備付ノ爲メニ貸付シタル圖書ハカード又ハ帳簿等ニ當該場所ヲ記シ圖書保管者ノ領收印ヲ徴シテ其ノ所在、種類、數量等ヲ明瞭ナラシムルモノトス

## 圖書貸附規程

第1條 本校所屬ノ圖書ハ圖書課員ノ外取扱ヲナスコトヲ得ス

第2條 教官ハ公務上必要ノ場合ハ掛員ノ承諾ヲ得テ書庫ニ入り檢索スルコトヲ得

第3條 圖書貸附ノ方法ハ次ノ三種トシ借受者ヲ以テ責任者トス  
1. 圖書館規程第5條ニヨリ特別ノ場所ニ備置クモノヲ備附圖書トス

2. 圖書館規程第7條ニヨリ閱覽室ニ於テ見ル爲貸與スルモノヲ閱覽圖書トス

3. 圖書館規程第8條ニヨリ貸附タルモノヲ貸出圖書トス

第4條 次ノ圖書ハ備附又ハ貸出圖書トシテ借受クルコトヲ得ス

1. 貴重圖書

2. 閱覽圖書トシテ缺クヘカラサルモノ

3. 貸出圖書トシテ同一圖書一部以上

4. 其他圖書課ニ於テ指定シタル圖書

第5條 備附及貸出圖書ハ次ノ部數ヲ限リ借受クルコトヲ得

備附圖書 各科課各教室 若干部

貸出圖書 教授、助教授、講師 十部以内

同 其他職員及研究生 五部以内

同 學生ハ(三日間)二部二册以内、長期休暇中ハ五部五



冊以内

第6條 圖書ノ幅又ハ帙ヲナスモノハ一個ヲ以テ一部ト認メ、逐次刊行書ハ一完冊ヲ了スルマテノ若干號ヲ併セテ一部トス

第7條 圖書ヲ借受ケントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ

第8條 借受ケタル圖書ハ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第9條 借受ケノ圖書ハ毎年七月十日マテニ悉ク返納スルモノトス

前項期限ノ外必要ニ應ジ臨時返納セシメ又ハ點檢スルコトアルヘシ

第10條 借受ケタル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ其損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシメ或ハ之ヲ修繕セシム、但シ時宜ニヨリ代金ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第11條 職員休職、退職、轉任又ハ海外渡航ノ場合及研究生、學生、休學、退學又ハ卒業等ノ爲學校ヲ去ルニ當リ其借受ノ圖書ハ直チニ返納スルモノトス

### 圖書閱覽規程

第1條 圖書閱覽室ハ學校休日及臨時閉鎖ノ必要アル場合ノ外次ノ時間内之ヲ開ク

午前八時ヨリ午後四時マテ、但シ土曜日ハ午後二時三十分マテトス

第2條 圖書館規程第7條ニヨリ圖書ヲ閱覽シ得ル者ニハ每學年ノ始メニ於テ圖書閱覽票ヲ交附ス

第3條 圖書ヲ借覽セントスルモノハ所定ノ用紙ニ相當ノ事項ヲ記入シ閱覽票ヲ添ヘテ掛員ニ差出スヘシ、但シ本校職員ハ閱覽票ヲ要セス

第4條 借覽ノ圖書ハ閱覽室外ヘ携出スルヲ得ス

第5條 閱覽室内ニアリテハ喫煙、音讀、談論、雜話、放歌等總テ他ノ閱覽者ノ妨害トナル舉動ヲ禁ス

第6條 借覽ノ圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ其損害ノ程度ニヨリ辨償又ハ修繕セシム

第7條 閱覽室内ニテハ圖書課員ノ命ニ從フモノトス

### 委託圖書取扱規程

第1條 閱覽ニ供スル目的ヲ以テ一ヶ年以上本校圖書館ニ保管ヲ委託セントスル者ハ其書目、著者名、價額及員數等ヲ詳記シ學校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第2條 委託者前條ノ許諾ヲ得タル時ハ該圖書圖書館ニ送致シ其受託證ヲ受クヘシ

第3條 委託圖書ハ其見易キ部ニ委託者ノ捺印有ルヲ要ス

第4條 委託圖書ハ本校所屬ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスト雖モ本校圖書ニ關スル規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトヲ得

第5條 圖書課主任ハ本校物品會計規定ニ準シ委託圖書出納課及監守課ヲ設ケ委託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第6條 委託圖書ハ火災、盜難其他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトアリトモ一切之ヲ辨償セス

第7條 委託圖書ハ圖書貸附規程第3條ニヨル備附圖書又ハ貸出圖書トスルコトヲ得ス

### 11. 非常心得 (大正13.4制定)

第1條 本校ニ於テ火災若クハ近火等非常事變ノ際ハ直チニ庶務課若クハ宿直員ニ急報スヘシ、但シ危急ノ場合ニ於テハ發見者先ツ警報ヲ疾呼シ又ハ號鐘ヲ亂打スヘシ

第2條 庶務課若クハ宿直員ハ前條ノ報ニ接シタルトキハ遲滞ナク左ノ處置ヲナスヘシ

1、號鐘ヲ亂打シ非常ヲ報シ消防署ヘ急報スルコト

2、休日又ハ退廳後ニアリテハ直ニ學校長及各係長ヘ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ急報シ他ノ職員一同ヘモ可成同様ノ處置ヲ執ルヘシ



第3條 職員生徒及傭人ハ本校出火若クハ近火ノ場合ハ直ニ駆付ヘシ

第4條 非常手配トシテ左ノ係ヲ置ク

警備係、防火係、運搬係

各係ニ長一名副長若干名係員若干名ヲ置ク其ノ部署ハ毎年四月之ヲ定ム

第5條 非常ノ際ハ本部ヲ設ケ學校長及各係長ノ所在ニ之ヲ置ク

第6條 警備係ハ左ノ事項ヲ擔任ンヘシ

- 1、金庫ノ警護ニ任スルコト
- 2、非常本部ノ位置ヲ定メ標燈又ハ標旗ヲ樹ツルコト
- 3、夜間ニハ廊下事務所其他必要ノ場所ニ點燈スルコト
- 4、構内ヲ巡邏シテ盜難ヲ警戒スルコト
- 5、見舞人應接ノ任ニ當リ其ノ氏名ヲ録スルコト
- 6、搬出物品ヲ監守スルコト
- 7、各部聯絡傳令ヲ司ルコト

第7條 防火係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

- 1、非常事變ニ際シ第一線ノ任務ニ服スルコト
- 2、防火具ヲ使用シ專ラ消防ニ従事スルコト

第8條 運搬係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

- 1、書類校具ヲ安全ノ位置ニ搬出スルコト、但シ非常持退ノ記號アルモノヲ先ニスルコト

第9條 係員不在又ハ少數ノ場合ハ各自臨機應援消防ニ従事スヘシ

第10條 次ノ非常用具ハ各係長ニ於テ夫々之ヲ整頓保管シ、ボンブ其ノ他器具類ハ時々之ヲ點檢使用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

- 1、常ニ防火用具ヲ整理シ一定ノ場所ニ備付之レカ使用並ニ備付場所ヲ校内一般ニ豫知セシメルコト
- 2、ボンブ1、消火器1、梯子1、消火栓用ホース及筒先1、

斧1 鋸1 大槌1

3、消火器、消火用水、消火用砂ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

4、運搬用具(擔架、荷車、其他)

5、消火器ニハ藥品充填ノ年月日及有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前ニ藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ

6、各係長ハ協議ノ上時々消火器ノ効力ヲ試験スヘシ

第11條 非常演習ハ各係長協議ノ上學校長ノ許可ヲ得テ春秋二回以上之ヲ行フ

第12條 各科ニ於テハ各科ノ特別事情參酌ノ上各科生徒ト共ニ防備係ヲ組織シ之ヲ警備係長ニ届ケ置クモノトス防備係ニハ係長一名ヲ置キ事變ノ際ハ警備係長ノ指揮ヲ受クヘシ

## 12. 宿直規程 (大正13.4制定)

第1條 判任官以下ノ事務職員ハ輪番ヲ以テ一名ツ、本校ニ宿直勤務スヘシ(但シ女子ハ除ク)

第2條 宿直ハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄勤務スルモノトス、但シ休日ハ登校時限ヨリ翌日ノ登校時限迄トス

第3條 宿直ノ順番ハ庶務課ニ於テ其前日迄ニ本人ヘ通知スヘシ

第4條 左ノ諸項ノ一ニ該當スルモノハ宿直ヲ除番ス

- 1、出張中並ニ出發ノ前日及歸校ノ日
- 2、賜暇又ハ忌引
- 3、新任者着任後七日間

第5條 病氣其他ノ事故ニ因リ宿直ヲナシ能ハサルトキハ其ノ旨庶務課ニ届出ツヘシ

前項ニ依リ宿直勤務ヲ缺ク者アルトキハ之ヲ一時除番シテ順次繰上ケ其事故止ミタルトキ直ニ之ヲ補勤セシム

第1項ノ場合ニ於テハ他ノ宿直者ト合意ノ上代人ヲ立テ又ハ當番ヲ交代シテ勤務スルコトヲ得

第6條 宿直勤務ノ標準次ノ如シ



- 1、 校内ノ警備取締特ニ火ノ元ニ注意シ一回以上ハ必ス校内ヲ  
巡視スヘシ
- 2、 非常ノ場合ハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスヘシ
- 3、 本校ニ到着シタル公文書ハ收受簿ニ登記シ翌日之ヲ庶務課  
ニ引繼キ其ノ至急ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ當該主任ニ送付ス  
ルコト

第7條 宿直日誌ニハ次ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

- 1、 月、日、七曜、祭日、天候
- 2、 宿直者氏名
- 3、 登校者及參觀人ノ官氏名時刻等
- 4、 校内巡視ノ模様
- 5、 其ノ他宿直中處理シタル事項

第8條 宿直室ニハ次ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

- 1、 宿直日誌
- 2、 職員名簿
- 3、 送付簿
- 4、 暗號電信符號
- 5、 郵便切手受拂簿
- 6、 收受簿

### 13. 校 友 會 規 則 (大正13.4制定)

第1條 本校學生並ニ職員ハ本校々風發揚ニ資スル目的ヲ以テ校  
友會ヲ組織スルコトヲ得

第2條 校友會ニハ武道部、運動部、學藝部ヲ設ケルコトヲ得、  
但シ各部ハ更ニ之ヲ細分スルヲ妨ケス

第3條 校友會ニハ會長一名、幹事長一名、幹事、會計主任、部  
長、主事等必要ナル役員ヲ置ク、但シ會長ハ本校々長幹事長ハ  
本校生徒監、部長並ニ會計主任ハ本校職員ヲ以テ幹事並ニ主事  
ハ學生ヲ以テ充ツヘシ

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ役員タルヲ得ス

- 1、 學業成績不良ニ因ル原級者
- 2、 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
- 3、 受罰中ノ者
- 4、 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサルモノ

第4條 會長ハ本校職員學生以外ノ者ヲ會員トシテ推薦スルコト  
ヲ得

第5條 校友會ニ於テ會費並入會金ヲ徵集シ又寄附ヲ受納スルコ  
トヲ得

第6條 校友會並ニ各部主催ニ關スル種々ノ催ハ校内ニ於テ之ヲ  
ナスヲ本則トス

第7條 各部選手ハ常任トセス其都度該部ニ於ケル優秀ナル技倆  
ヲ有スル者ノ中ヨリ會長之ヲ選ヒ學校職員會議ノ承認ヲ經テ任  
スヘシ、但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ選手タルコトヲ得  
ス

- 1、 學業成績不良ニ因ル原級者
- 2、 假進級中ノ者
- 3、 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
- 4、 受罰中ノ者
- 5、 代表保證人ヨリ反對セラレタル者
- 6、 校醫ヨリ健康上不適當ト認メラレタル者
- 7、 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサル者

第8條 各部有志トシテ校外ニ出ツル場合學校代表者ト見做サレ  
易キ者ハ前條ニ準シ學校ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第9條 校友會々則ハ會長之ヲ定ム



V 職 員 (大正15.5 1現在)

校 長  
 二 等 正五勳四福田 爲造(東) Hukuda-Tamczô  
 教 授  
 三 等(勳符)評議員電氣工學科長正五勳四横田 護臣(群) Makita-Moriomi  
 四 等 評議員 正 六 日下部富藏(知) Kusakabe-Tomizô  
 五 等 評議員機械工學科長正 六 臼倉錠次郎(東) Usukura-Dyôzîrô  
 五 等 評議員應用化 科長從 六 岡部 欽二(口) Okabe-Kinzi  
 五 等 評議員 生徒監 從 六 早船 慧雲(玉) Hayahune-Eun  
 六 等 評議員 正 七 伊藤 貞治(城) Itô-Teidi  
 六 等 評議員 幹事 從 七 弘中 廣志(口) Hironaka-Hirosi  
 七 等 從 七 松村 龍雄(神) Matamura-Tatuo  
 七 等 從 七 古金次郎一(廣) Hurukine-Ziroiti  
 七 等 從 七 山崎 貫三(新) Yamazaki-Kanzô  
 七 等 從 七 幸林 良作(富) Kôbayasi-Ryôsaku  
 七 等 從 七 須永 秀彌(北) Sunaga-Hideya  
 七 等 從 七 高澤十三郎(新) Takazawa-Tosalurô  
 七 等 休職中 從 七 猪股 惣六(新) Inomata-Sôroku  
 七 等 從 七 近藤杉樹郎(新) Kondô-Sanzÿôrô  
 講 師  
 松倉時之助(富) Matukura-Tokinisuke  
 正 六 清水 家助(兵) Simidu-Iesuke  
 山口 四郎(東) Yamaguti-Sirô  
 柴田雄三郎(兵) Sibata-Yûsaborô  
 森谷 一郎(兵) Moritani-Itirô  
 從 七 長谷川龍雄(新) Hasegawa-Tatuo  
 助教授  
 飛永 甚治(富) Tobinaga-Zindi

宇野 茂太(形) Uno-Sigeta  
 竹内 左内(東) Takeuti-Sanai  
 鈴木 恪雄(玉) Suzuki-Kakuo  
 正 八 小山 健藏(新) Koyama-Kenzô  
 津田 吉文(分) Tuda-Yosibumi  
 尾高 雅次(群) Odaka-Masazi  
 講 師  
 勳 六 五十嵐廣作(新) Ikarasi-Hirosaku  
 配屬將校  
 陸軍砲兵少佐 正六勳四淺野 長房(城) Asano-Nagahusa  
 書 記  
 勳 七 石澤 好三(秋) Isizawa-Kôzô  
 大原孝次郎(形) Oohara-Kôzîrô  
 阿部 國貞(新) Abe-Kunisada  
 中野 誠二(口) Nakano-Seizi  
 土屋 正哲(新) Tutiya-Masaaki  
 雇  
 正 八 樋口 武雄(野) Higuti-Takeo  
 笠原 榮吉(新) Kasahara-Eikiti  
 正 八 室賀 幸雄(新) Muroga-Yukio  
 勳 七 長谷川梅太郎(新) Hasegawa-Umetarô  
 小島 貞(野) Kozima Tadasu  
 正 八 佐藤 精一(新) Satô-Seiti  
 穂苅 忠二(新) Hokari-Tyûzi  
 赤部 一(新) Akabe-Hazime  
 齋藤 虎雄(新) Saitô-Torao  
 草開 達二(富) Kusabiraki-Tatuzi  
 川上 富作(新) Kawakami-Tomisaku  
 清水 守市(玉) Simidu-Moriiti



囑託 安藤 竹代(新) Andô-Takeyo  
 勳八 玉井 龜雄(野) Tamai-Kameo  
 細貝 省二(新) Hosogai-Syôzi  
 産江 植吉(新) Ueue-Uekiti

學校醫 正七 今井 楠三(阪) Imai-Narazô

職員受持一覽表

校長	事務室	理學士	福田 爲造
幹事		教授	弘中 廣志
生徒監		教授	早船 慧雲
主任	庶務課	書記	大原孝次郎
(兼)		書記	中野 誠二
主任	會計課	書記	石澤 好三
(兼)		書記	阿部 國貞
		書記	中野 誠二
		書記	土屋 正哲
		雇	穂苅 忠二
		雇	清水 守市
		雇	安藤 竹代
主任	教務課	教授	弘中 廣志
(兼)		書記	阿部 國貞
		雇	長谷川梅太郎

主任	學生課	講師	五十嵐廣作
主任	圖書課	書記	中野 誠二
		雇	室賀 幸雄
主任	調査計畫課	教授	弘中 廣志
(兼)		書記	石澤 好三
(兼)		書記	大原孝次郎
(兼)		書記	中野 誠二
		雇	川上 富作

學校醫 醫務室 囑託 醫學博士 今井 楠三

體操	體育教室	助教授	宇野 茂太
劍道		囑託	玉井 龜雄
弓道		囑託	細貝 省二
柔道		囑託	産江 植吉

教練	教練教室	陸軍砲兵少佐	淺野 長房
教練		講師	五十嵐廣作

修身、外國語、	文科教室	教授 文學士	早船 慧雲
外國語、法制經濟、工業經營、		教授 經濟學士	須永 秀彌
外國語、		講師	清水 家助

數學	理科教室	教授 理學士	日下部富藏
物理學、物理學實驗、		教授 理學士	伊藤 貞治



物理學、物理學實驗、  
數 學  
工場建築  
物理學實驗  
助 手

教 授 理學士 松村 龍雄  
教 授 理學士 高澤十三郎  
講 師 長谷川龍雄  
助教授 竹内 左内  
雇 小島 貞

### 電 氣 教 室

電氣機械及設計、讀書攻究、電氣工學、科長教 授 工學士 横田 護臣  
電氣理論、實驗實習、製圖、電氣機械及設計教 授 工學士 山崎 貫三  
(在外研究中) 講 師 工學士 松倉時之助  
發電所及變電所 講 師 工學士 森谷 一郎  
電氣磁氣測定、實驗實習、製圖、 助教授 工學得業士 津田 吉文  
製圖、實驗實習、送電及配電、 助教授 尾高 雅次  
助 手 雇 樋口 武雄  
助 手 雇 齋藤 虎雄

### 機 械 教 室

材科力學、水力及水力機、 科長 教 授 工學士 白倉錠次郎  
機械工學通論、機械製圖、 教 授 弘中 廣志  
原動機概説、熱機關、製圖、實驗實習、 教 授 工學士 古金次郎一  
汽罐、機構學、金屬材料、 教 授 工學士 近藤杉樹郎  
讀書攻究、熱力學、内然機關、製圖、 助教授 飛永 甚治  
機械工作法、製圖、實驗實習、 助教授 小山 健藏  
熱氣機關及タービン、 雇 赤部 一  
原動機概説、實驗實習、機械設計、製圖、 雇 草開 達二  
助 手  
助 手

### 化 學 教 室

電氣化學及電池、實驗實習、 科長 教 授 工學士 岡部 欽二  
應用電氣化學、製造化學通論、 教 授 幸林 良作  
有機化學、製造化學通論、製造化學特論、 教 授 工學士 猪股 惣六  
(休職中)

無機化學、讀書攻究、製造化學通論、  
物理化學、讀書攻究、實驗實習、  
實驗實習、製造化學通論、鐵物學、  
化學、實驗實習、  
助 手  
助 手

講 師 理學士 山口 四郎  
講 師 理學士 柴田雄三郎  
講 師 理學士 國府 健次  
助教授 鈴木 恪雄  
雇 笠原 榮吉  
雇 佐藤 精一



## VI 學生

### 1. 學生氏名 (縱=ABC順)

(大正 15. 5. 1 現在)

#### 電氣工學科第三學年 (34名)

淺野次郎(島) Asano-Ziro	松浦幾造(秋) Matuura-Ikuzō
平山道男(新) Hirayama-Mitio	皆川弘(新) Minagawa-Hiroshi
廣井佐武郎(新) Hiroi-Saburō	盛健治(青) Mori-Kenzi
本望利家(新) Honmō-Tosiie	森谷太郎(群) Moriya-Tarō
星野基(新) Hosino-Motoi	本山忠信(新) Motoyama-Tadanobu
藤田助二郎(新) Hudita-Sukezirō	永倉榮三(城) Nagakura-Eizō
藤田悌二(新) Hudita-Teizi	夏井爲茂(媛) Natui-Tamesige
五十嵐二郎(新) Ikarasi-Nirō	齋藤金一(新) Saitō-Kiniti
梶本松次(廣) Kadimoto-Matuzi	佐野保(新) Sano-Tamotu
刈田藤一郎(新) Karita-Tōitirō	關川浩太郎(新) Sekikawa-Kōtarō
嘉瀬太資(新) Kase-Tasuke	關川精一(新) Sekikawa Sesiiti
川村勝平(新) Kawamura-Katuhei	武石逗治(新) Takeisi-Tōdi
木村貞司(新) Kimura-Teizi	竹内功(東) Takeuti-Tutomu
小林博(新) Kobayasi-Hiroshi	田中康平(新) Tanaka-Kōhei
間野文作(新) Mano-Bunsaku	塚本武夫(新) Tukamoto-Takeo
丸山進(新) Maruyama-Susumu	山本莊太郎(新) Yamamoto-Sōtarō
松谷庄次(富) Matutani-Syōzi	吉岡一雄(富) Yosioka-Kaduo

#### 機械工學科第三學年 (25名)

阿部永介(新) Abe-Eisuke	近藤悟郎(新) Kondō-Gorō
青山浩(新) Aoyama-Hiroshi	黒田清(新) Kuroda-Kiyosi
平田喬平(群) Hirata-Kyōhei	宮崎宏藏(新) Miyazaki-Kōzō
石原博陳(東) Ishihara-Hironobu	村山芳男(新) Murayama-Yosio
蟹江兵一(知) Kanie-Hyōiti	永井勝二(新) Nagai-Katuzi
加藤海兒(東) Katō Kaizi	長坂鐵男(富) Nagasaka-Tetuo
加藤良男(新) Katō-Yosio	中曾敏之助(知) Nakasō-Tosin-suke
小林正文(野) Kobayasi-Masalumi	中山文吾(新) Nakayama Bungo

中山作平(新) Nakayama-Sakuhei	高橋德三郎(新) Takahashi-Tokusaburō
小川賢治(新) Ogawa-Kendi	力石誠身(新) Tkaraisi-Masami
奥井義衛(根) Okui-Yosie	余田喜重(兵) Yoden Kidyū
大島善吉(新) Oosima-Zenkiti	吉越清治(新) Yosikosi-Seidi
佐藤亮二(新) Satō-Ryōzi	

#### 應用化學科第三學年 (26名)

青木忠藏(玉) Aoki-Tyūzō	難波隆一(新) Nanba-Ryūiti
青柳平八郎(新) Aoyagi-Heihachirō	野上信行(新) Nogami-Nobuyuki
淺沼一夫(新) Asanuma-Kazuo	櫻澤貫平(新) Sakurazawa-Kwanpei
英口喜代松(新) Eguti-Kiyomatsu	佐藤喜市(新) Satō-Kiiti
林陪一郎(富) Hayasi-Masuitirō	鈴木倉市郎(新) Suzuki-Kuraitirō
林茂雄(鹿) Hayasi-Sigeo	高橋中(新) Takahashi-Ataru
古川虎雄(新) Furukawa-Torao	高橋莊八郎(新) Takahashi-Sōhachirō
伊比義雄(新) Ibi-Yosio	田中昇(島) Tanaka-Noboru
今井俊一(富) Imai-Tosikazu	手塚節次(野) Teduka-Setuzi
金田英雄(島) Kaneda-Husao	常田龜(野) Tokida-Susumu
金子正五郎(新) Kaneko-Syōgorō	土田進(新) Tutida-Susumu
桑原民二(野) Kuwabara-Tamizi	土田武(新) Tutida-Takesi
宮下精一(新) Miyata-Seiiti	植村英夫(和) Uemura-Hideo

#### 電氣工學科第二學年 (34名)

青柳紋七(新) Aoyagi-Monsiti	小西榮七郎(新) Konisi-Eisitirō
塙義雄(茨) Hanawa-Yosio	松川申也(新) Matukawa-Sin'ya
本間孝一(新) Honma-Kōiti	森山擴(新) Moriyama-Hiromu
星野信夫(新) Hosino-Nobuo	村山三郎(新) Murayama-Saburō
福田秀夫(栃) Fukuda-Hideo	中西良雄(靜) Nakanisi-Yosio
池田誠(新) Ikeda Makoto	西山二三郎(新) Nisiyama-Nisaburō
稻田文雄(富) Inada-Humio	西澤平一郎(新) Nisizawa-Heitirō
海津信衛(新) Kaidu-Sin'ei	野本松七(新) Nomoto-Matusiti
金山秀雄(新) Kanayama Hideo	小田正二(新) Oda Seizi
木村重雄(新) Kimura-Sigeo	小田莊六(新) Oda-Syōroku
北村孝德(野) Kitamura-Kōtoku	小田德之助(新) Oda-Tokunsuke



大島健三(新) Ocsima-Kenzō	谷内忠太郎(新) Taniuti-Tyūtarō
大塚爲吉(新) Cotuka-Tamekiti	太刀川正二(新) Taticawa-Masazi
櫻井正男(新) Sakurai-Masa	坪谷善三郎(新) Tuboya-Zenzaburō
白井武(新) Sirai-Takesi	渡邊秀男(新) Watanabe-Hide
鈴木岩雄(新) Suzuki-Iwao	山口正盛(野) Yamaguti-Masamori
高橋恒次(新) Takahasi-Tunezi	吉村清次郎(野) Yosimura-Seizirō

機械工學科第二學年 (34名)

新井達雄(新) Arai-Tōtuo	難波常繁(新) Nanba-Tunesige
相川澄雄(群) Aikawa-Sumio	西木晴策(新) Nisiki-Seisak
樗澤是暢(新) Banazawa-Korenobu	萩野勝波(新) Ogino-Katunami
羽入勇(新) Hanyu-Isamu	岡九二男(新) Oka-Kunio
原健二(新) Hara-Kenzi	大崎忠男(新) Oosaki-Tadao
原四郎(島) Hara-Sirō	太田信重(新) Oota-Nobusige
長谷川一男(新) Hasegawa-Kazuo	阪井政夫(阪) Sakai-Mosao
星野一也(新) Hosino-Itiya	實政義治(廣) Sanemasa-Yosiharu
金子文雄(新) Kaneko-Humio	島岡平藏(新) Simaoka-Heizō
鹿島省吾(千) Kasima-Syogo	下田信次(新) Simoda-Sinzi
川上文彦(新) Kawakami-Humihiko	須貝五郎(新) Sugai-Gorō
小林正直(新) Kobayasi-Masanao	鹽原一夫(新) Siobara-Kazuo
小林虎雄(新) Kobayasi-Torao	高井進介(栃) Takai-Sinsnke
駒形良作(新) Komagata-Ryōsaku	武内武司(新) Takeuti-Takesi
皆川巖(新) Minakawa-Kibisi	田邊傳三(新) Tanabe-Denzō
村上哲男(媛) Murakami-Tetsu	土田繁(新) Tutida-Sigesi
長井健一(新) Nagaiken'iti	米内小太郎(岩) Yonai-Kotarō

應用化學科第二學年 (32名)

阿部弘之助(新) Abe-Hircnosuke	平田正夫(新) Hirata-Masao
阿部龜代治(新) Abe-Kiyodi	五十嵐光(新) Igarasi-Mituru
天谷廣次(栃) Amagai-Kōzi	井海榮一(新) Ikai-Eiiti
青柳勇治(新) Aoyagi-Yūdi	上村清五郎(新) Kamimura-Seigorō
長谷川義勝(新) Hasegawa-Osikutu	金安仁一郎(新) Kaneyasu-Niitirō

春日天生(新) Kasuga-Tensyō	大西周一(富) Oonisi-Syūiti
春日時郎(新) Kasuga-Tokirō	齋藤博邦(新) Saitō-Hirokuni
小管靜夫(新) Kosuge-Siduo	坂爪幸三(新) Sakadume-Kōzō
南森榮(新) Minami-Moriei	田中哲郎(新) Tanaka-Teturō
三崎辰衛(新) Misaki-Tatue	外川信次(新) Togawa-Nobuzi
道上重雄(新) Mitigami-Sigeo	山田貞吉(新) Yamada-Teikiti
宮原金盛(野) Miyahara-Kanemori	山岸明德(新) Yamagisi-Akinori
望月美文(野) Motiduki-Yosihumi	谷内田武雄(新) Yatida-Takeo
中谷精之助(奈) Nakatani-Seinosuke	矢嶋眞(新) Yazima-makoto
成田功(知) Narita-Isao	吉田博(新) Yosida-Hircsi
小沼治作(島) Onuma-Disaku	湯本應利(新) Yumoto-Masatosi

電氣工學科第一學年 (37名)

伴常作(新) Ban-Tunesaku	落合勇(靜) Otai-Isamu
坊上忠雄(香) Bōzyō-Tadao	齋藤征(新) Saitō-Tadasi
大光寺正見(岩) Daikōzi-Masami	齋藤勇(新) Saitō-Yū
濱中龜次(北) Hamanaka-Kamezi	酒井間左工門(富) Sakai-Mazaemen
長谷川俊雄(新) Hasegawa-Tosio	櫻井新一郎(新) Sakurai-Sin'itirō
廣瀬俊司(新) Hirose-Syunzi	佐藤秀男(新) Sato-Hideo
伊藤敬一(新) Itō-Keiiti	佐藤晋(群) Satō-Susumu
神戸正(新) Kanbe-Tadasi	新發田一郎(新) Sibata-Itirō
川島康平(新) Kawasima-Kōhei	關香苗(新) Seki-Kanae
木村信次(靜) Kimura-Nobuzi	高橋芳雄(新) Takahasi-Yosio
木島仁策(新) Kizima-Nisaku	竹内昇司(新) Takeuti-Syōzi
栗山潔(兵) Muriyama-Kiyosi	田中芳夫(靜) Tanaka-Yesio
前澤篤(新) Maetzawa-Atusi	種岡國威(新) Taneoka-Kunitake
松井敏夫(福) Matui-Tosio	建入實(新) Tatiiri-Minoru
峰村利助(新) Minemura-Risuke	鴛尾靜治(新) Wasio-Seidi
村田茂民(岡) Murata-Sigetami	山口宏(新) Yamaguti-Hircsi
岡正午郎(新) Oka-Syōgorō	山下文雄(新) Yamasita-Humio
大智浩(岡) Ooti-Hirosi	吉田義治(新) Yosida-Yosiharu
大和田盛胤(秋) Oowada-Moritane	



機械工學科第一學年 (35名)

阿部 一郎(岩) Abe-Itirō	兒島義教(新) Kozima-Yosinori
青木順之助(玉) Aoki-Zyunosuke	窪 明一(新) Kubo-Myōiti
別府滋樹(野) Beppu-Sigeki	萬羽 邁(新) Manda-Tutomu
長谷川光雄(玉) Hasegawa-Teruo	松原正樹(新) Matubara-Masaki
本間勇佐吉(新) Honma-Yusakiti	中村武夫(新) Nakamura-Takeo
堀田啓三(富) Hotta-Keizō	中野小藤太(野) Nakano-Kotōda
藤井林造(富) Hudii-Rinzō	中野義雄(新) Nakano-Yosio
井本寛重(根) Imoto-Kwandyū	太田昇三郎(新) Oota-Syōzaburō
岩崎 浩(群) Iwasaki-Hiroshi	齋藤貞治郎(新) Saitō-Teidō
板垣 學(形) Itagaki-Manabu	齋藤貞一(新) Saitō-Teiti
金山 皓(新) Kaneyama-Siroshi	島津秋治(滋) Simadu-Syūdi
金子四郎治(群) Kaneko-Sirōdi	橋 彌一(井) Tatibana-Yaiti
神藏信雄(新) Konzō-Nobuo	津田四郎(東) Tuda-Sirō
川村 晋(高) Kawamura-Susumu	上原喜代藏(玉) Uehara-Kiyozō
木村秀雄(新) Kimura-Hideo	宇津木 信(島) Utugi-Sin
金 賢 變(朝) Kin-Kensyō	渡邊重武(北) Watanabe-Sige'aka
北村知男(野) Kitamura-Tomoo	矢島式部(野) Yazima-Sikibu
小池四郎(島) Koika-Siro	

應用化學科第一學年 (35名)

朝倉 潔(新) Asakura-Kiyosi	北村讓吉(富) Kitamura-Zyōkiti
原 道夫(新) Hara-Mitio	馬淵親般(靜) Mabuti-Tikakazu
穂刈監三(新) Hōkari-Hanzō	牧野泰夫(井) Makino-Yasuo
星野 篤(新) Hosino-Atsushi	松澤春雄(野) Matuzawa-Haruo
星野誠吉(新) Hosino-Seikiti	水城伊左美(福) Miduki-Isami
藤井多兵衛(栴) Hudii-Tahei	元吉正文(千) Motoyoshi-Masanori
井口秀吉(新) Iguti-Hidekiti	中 村 潔(新) Nakamura-Kiyosi
石川六郎(崎) Isikawa-Rokurō	小野山辛平(野) Onoyama-Sinpei
小池元二(野) Koike-Motczi	大井吉藏(秋) Ooi-Kitizō
古田島坦二(新) Kōtazima-Tanzī	大宮俊二(新) Ōmiya-Synzi
小山吾作(新) Koyama-Gosaku	齋藤英夫(新) Saitō-Hideo

佐藤四郎(新) Satō-Sirō	渡部政雄(新) Watanabe-Masao
佐藤鐵治(新) Satō-Tetudī	山本康五郎(島) Yamamoto-Yasugorō
佐藤義郎(宮) Satō-Yosirō	山崎憲司(新) Yamazaki-Kenzi
民野安二(富) Tamino-Yasuzi	横川四郎(玉) Yokokawa-Sirō
富田武雄(玉) Tomita-Takeo	横山利策(新) Yokoyama-Risaku
土川孝生(井) Tutikawa-Kōhu	吉田 豊(新) Yoshida-Yutaka
内山武夫(井) Utiyama-Takao	

2. 學級人員一覽表 (大正15.5.1現在)

科 學 年	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
I	37	35	35	107
II	34	34	32	100
III	34	35	26	85
計	105	94	93	292

3. 入學志願者及入學許可者數

年 次	科 名	入 學 志 願 者 數	入 學 許 可 者 數	百分比	備 考
十三年	電氣工學科	134	40	29.9	
	機械工學科	72	37	51.4	
	應用化學科	59	36	61.0	
	計	265	113	42.6	
十四年	電氣工學科	115	34	29.6	
	機械工學科	58	32	55.2	
	應用化學科	37	28	75.7	
	計	210	94	44.8	
十五年	電氣工學科	153	36	23.5	
	機械工學科	128	34	26.6	
	應用化學科	62	33	53.2	
	計	343	103	30.0	



4. 大正十五年度入學者諸調

出身學校別 ( )内ハ學校數

	學校名	電氣科	機械科	應化科	計
縣 下 中 學 校	新潟中	—	1	—	1
	三條中	2	1	1	4
	長岡中	9	3	8	20
	小千谷中	4	—	1	5
	高田中	4	1	—	5
	柏崎中	2	3	2	7
	佐渡中	—	1	1	2
	新發田中	1	1	—	2
	村上中	2	—	2	4
	計	(7)24	(7)11	(6)15	(9)50
他 府 縣 道 中	旭川中	—	1	—	1
	北海中	1	—	—	1
	一關中	—	1	—	1
	本莊中	—	—	1	1
	喜多方中	—	1	—	1
	眞岡中	—	—	1	1
	前橋中	1	—	—	1
	澁川中	—	1	—	1
	熊谷中	—	2	2	4
	粕壁中	—	1	—	1
	郁文館中	—	—	1	1
	明治中	—	1	—	1
	明治學院中	—	—	1	1
	富山中	—	—	2	2
	魚津中	—	1	—	1
	礪波中	1	—	—	1
	神通中	1	1	—	2
大野中	—	—	1	1	
武生中	—	—	1	1	

學 校	北陸中	—	1	—	1
	松本中	—	1	1	2
	上田中	—	1	—	1
	伊那中	—	1	—	1
	諏訪中	—	—	1	1
	本巢中	—	1	—	1
	掛川中	2	—	—	2
	京都中	1	—	—	1
	米子中	—	—	1	1
	大田中	—	1	—	1
	天城中	—	—	1	1
	丸龜中	1	—	—	1
	北豫中	—	1	—	1
	福岡中	—	1	—	1
	長崎中	—	—	1	1
	對馬中	—	1	—	1
	延岡中	—	—	1	1
	平壤高普	—	1	—	1
	計(校數) 及人員	(7)8	(19)20	(14)16	(37)44

	學校名	電機科	機械科	應化科	計
縣工 下業	長岡工	2	2	—	(1)4
他 府 縣 工 業 學 校	札幌工	—	1	—	1
	岩手工	1	—	—	1
	東京工藝	—	1	—	1
	石川工	—	1	—	1
	福井工	—	—	1	1
	長野工	—	1	—	1
	濱松工	—	—	1	1
	神戶工	1	—	—	1
	岡山工	1	—	—	1
	高知工	—	1	—	1
	三井工	—	—	1	1



	計 (校數) 及人員	(3) 3	(5) 5	(3) 3	(11) 11
其	能生水	1	—	—	1
	高田師	—	1	—	1
	新潟師	—	—	1	1
他	計 (校數) 及人員	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(3) 3
總	中學校	(14) 32	(26) 31	(20) 31	(46) 94
	工業其他	(4) 6	(7) 8	(4) 4	(15) 18
計	計 (校數) 及人員	(18) 38	33(39)	24(35)	(61) 112

卒業年度別

卒業年度	出身學校	電氣科	機械科	應化科	計
大正 10	中學校其他	1	1	—	2
" 11	中學校其他	—	1	1	2
" 12	中學校其他	1	—	—	1
" 13	中工業	—	1	1	2
" 14	中工業	3	5	6	11
" 15	中工業	8	5	5	18
" 15	中工業	1	3	2	6
" 15	中工業	22	20	19	61
" 15	中工業	1	1	—	2
計		38	39	35	112

本籍別

府縣別	電氣科	機械科	應化科	計
北海道	1	2	—	3
岩手	1	1	—	2
秋田	1	—	1	2
山形	—	1	—	1
福島	—	2	—	2
栃木	—	—	1	1
群馬	1	1	—	2

埼玉	—	3	2	5
千葉	—	—	1	1
東京	—	1	—	1
新潟	24	13	13	53
富山	2	2	2	6
福井	—	1	3	4
長野	—	4	3	7
岐阜	—	1	—	1
静岡	3	—	1	4
滋賀	—	1	—	1
兵衛	1	—	—	1
和歌山	—	1	—	1
鳥取	—	—	1	1
島根	—	1	—	1
岡山	2	—	1	3
香川	1	—	—	1
愛媛	—	1	—	1
高知	—	1	—	1
福岡	1	—	1	2
長官	—	1	1	2
宮崎	—	—	1	1
朝鮮	—	1	—	1
計	38	39	35	112

5. 學生出身學校別 (大正15.5.1現在)

學科	出身學校別							計	
	學年	中學校	工業學校	農業學校	商業學校	商船學校	水產學校		其他
電氣工學科	I	31	5	—	—	—	1	—	37
	II	28	6	—	—	—	—	—	34
	III	22	11	—	—	—	—	1	34



機械工學科	I	27	7	—	—	—	—	1	35
	II	28	6	—	—	—	—	—	34
	III	22	3	—	—	—	—	—	25
應用化學科	I	31	3	—	—	—	—	1	35
	II	19	11	—	—	—	1	1	32
	III	17	7	1	—	—	—	1	26
計	I	89	15	—	—	—	1	2	107
	II	75	23	—	—	—	1	1	100
	III	61	21	1	—	—	—	2	85
總計		225	59	1			2	5	292

6. 學生出身道府縣別 (大正15.5.1現在)

太字ハ出身本籍別 細字ハ出身學校別

道府縣別	電氣工學科				機械工學科				應用化學科				計			
	I	II	III	計	I	II	III	計	I	II	III	計	I	II	III	計
	北	1			1	1			1					2		
青			1	1					1			1		1		2
岩	1			1	1	1		2				2	1			3
城			1	1										1		1
秋	1		1	2				1		1		2	1	1		3
形					1			1				1				1
島			1	1	2	1		3		1	2	3	2	2	3	7
茨		1		1										1		1
栃		1		1		1		1	1	1		2	1	3		4
群	1	1	1	2	2	1	1	4				3	1	2		6
玉					3			3	2	1		3	5		1	6

千										1		1			1	1	1	2
東		1								2	1	3	2		2	4	1	3
神																		
新	24	28	24	76	13	26	16	55	17	25	16	58	54	79	56	189		
富	27	27	24	78	14	26	18	58	17	24	18	59	58	77	60	195		
石	1	1	2	4	2		1	3	2	1	2	5	5	2	5	12		
井	1	1	2	4	2		1	3	2	1	2	5	5	2	5	12		
梨																		
野		2		2	4		1	5	3	2	3	8	7	4	4	15		
岐		3		3	4			4	2	2	3	7	6	5	3	14		
靜		1		1										1		1		
知	3	1		4					1			1	4	1		5		
三	2			2					1			1	3	1		3		
滋														1		1		
京																		
阪	1			1										1		1		
兵									1	1				1	1	2		
奈	1			1					1	1				1	1	2		
和												1	1			1		
烏												1	1			1		
根												1	1			1		
岡												1	1			1		
廣	2			2										2		2		
口	1		1	1					1	1				1	1	2		







## VII 關係法令

### 1. 文部省直轄學校一覽進達方

(明治32.5.22.)  
(文部省訓令號外)

#### 直轄學校

直轄學校一覽ノ儀自今左ノ要目ニ照シテ編纂シ毎學年ノ始メ三箇月以内ニ進達スヘシ

#### 編纂要目

- 1、學年曆 學年、學期、授業、試業ノ始終、休業日等ヲ記ス
- 2、沿革略 創立以來沿革ノ要略ヲ記ス
- 3、法令 學校ノ成立、組織等ニ關スル法令ヲ記ス
- 4、諸規則 教則、校則及其他必要ナル規程ヲ記ス
- 5、職員 職名、氏名、族籍、教員受持學科、屬員分課等ヲ記ス
- 6、學生生徒 (大學ノ外學生ノ二字ヲ除ク)學級及員數等ヲ記ス
- 7、卒業生 從來卒業セル者ノ族籍、氏名、卒業ノ年月並卒業後ノ狀況等ヲ記ス
- 8、敷地建物 略圖但シ坪數及所川ノ別等ヲ記ス

以上規則等ニ關スル事項ハ該學年始ノ調査ヲ以テ記シ其他緊要ノ事項ヲ記ス但シ前記要目ノ各項ヲ前後斟酌シテ編纂スルハ妨ケナシ

### 2. 文部省直轄諸學校官制 (抄)

(明治26年)  
(勅令第86號)

第1條 文部省直轄諸學校ハ次ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校

盛岡高等農林學校  
上田蠶絲專門學校  
京都高等蠶業學校  
三重高等農林學校  
岐阜高等農林學校  
神戸高等商業學校  
山口高等商業學校  
名古屋高等商業學校  
大分高等商業學校  
和歌山高等商業學校  
高松高等商業學校  
第一高等學校  
第三高等學校  
第五高等學校  
第七高等學校  
新潟高等學校  
山口高等學校  
水戸高等學校  
佐賀高等學校  
松江高等學校  
大阪高等學校  
福岡高等學校  
高知高等學校  
廣島高等學校  
熊本藥學專門學校  
大阪高等工業學校  
名古屋高等工業學校  
米澤高等工業學校  
橫濱高等工業學校

鹿兒島高等農林學校  
東京高等蠶絲學校  
鳥取高等農業學校  
宇都宮高等農林學校  
宮崎高等農林學校  
長崎高等商業學校  
小樽高等商業學校  
福島高等商業學校  
彥根高等商業學校  
橫濱高等商業學校  
高岡高等商業學校  
第二高等學校  
第四高等學校  
第六高等學校  
第八高等學校  
松本高等學校  
松山高等學校  
山形高等學校  
弘前高等學校  
東京高等學校  
浦和高等學校  
靜岡高等學校  
姫路高等學校  
富山藥學專門學校  
東京高等工業學校  
京都高等工藝學校  
熊本高等工業學校  
桐生高等工業學校  
廣島高等工業學校



金澤高等工業學校  
明治專門學校  
神戸高等工業學校  
徳島高等工業學校  
福井高等工業學校  
秋田鑛山專門學校  
神戸高等商船學校  
大阪外國語學校  
東京音樂學校  
東京聾啞學校

仙臺高等工業學校  
東京高等工藝學校  
濱松高等工業學校  
長岡高等工業學校  
山梨高等工業學校  
東京高等商船學校  
東京外國語學校  
東京美術學校  
東京盲學校

第6條 文部省直轄諸學校ニ次ノ職員ヲ置ク

校長  
教授  
生徒監  
助教授  
書記

第7條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第8條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第9條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第10條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第17條 専任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第19條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

### 3. 文部省直轄諸學校職員定員令 (抄)

(明治35年)  
(勅令第99號)

文部省直轄諸學校専任職員ノ定員ハ次ノ如シ

校長 教授 助教授 書記  
長岡高等工業學校 一人 二十人 九人 六人

### 4. 文部省直轄諸學校長職務規程

(大正2.6.23)  
(文部省訓令)

第1條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第2條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第3條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ、但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

- 1、教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
- 2、規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
- 3、俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 4、職員以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 5、職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
- 6、講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
- 7、經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 8、三日以内ノ臨時休業ヲナスコト

第4條 前條ニ掲ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

### 5. 專門學校令 (抄)

(明治33年)  
(勅令第61號)

第1條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ



第5條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ、但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第6條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第7條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第8條 官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並ニ豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

#### 6. 實業學校令 (抄) (明治32年勅令第29號)

第1條 實業學校ハ實業ニ従事スルモノニ須要ナル智識才能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニカムヘキモノトス

第2條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第2條ノ2 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

#### 7. 實業學校教員養成規程 (大正4年文部省令第7號)

第1條 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京商科大学附屬商業教員養成所、東京高等工業學校附設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一ヶ月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ従事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第2條 前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ従事スヘキ義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ従事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

- 1、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一
- 2、養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受タタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
- 3、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第3條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第4條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第5條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

- 1、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
- 2、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
- 3、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム



第6條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ従事スル者  
ニ其ノ義務期間内ニ轉任退職若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事  
由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ、但シ陸海軍現役ニ服  
シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル  
者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ  
休職期間満了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中  
復職ヲ命シタルトキ亦同シ

第7條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第8條 大學及専門學校ノ學生生徒ニテ卒業ノ後實業學校ノ教職  
ニ従事セントスル者ニハ一ヶ月金貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給ス  
ルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケル者將來教員タルニ適セザ  
ルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ  
得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム、但シ文  
部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコ  
トアルヘシ

第9條 前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ  
受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實  
業學校ノ教職ニ従事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第二條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ  
學生生徒ニ關シ之ヲ準用ス

#### 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前各教員養成所ニ入學シタル者若ハ帝國大學及文部省直  
轄諸學校ノ學生生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ニ關シテハ仍  
従前ノ規程ニ依ル

### 8. 文部省直轄實業専門學校委託生規程

(明治40年)  
(文部省令第23號)

第1條 北海道府縣市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄  
實業専門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セ  
ル實業學校ノ教職ニ従事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ  
在學セシムルコトヲ得

第2條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委嘱ス  
ルコトヲ得

第3條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月  
拾圓以上トス

第4條 委託生ニハ授業料ヲ徴收セス

第5條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇  
年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ  
教職ニ従事スヘキ義務ヲ有ス

第6條 委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止  
ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ  
受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ、但シ當該  
公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ  
其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

- 1、 前條ノ義務ヲ盡ササルトキ
- 2、 懲戒免職ニ處セラレタルトキ
- 3、 免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第7條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

### 9. 文部省直轄諸學校外國人

#### 特別入學規定

(明治34年)  
(文部省令15號)

第1條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依  
ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスルモノハ外  
務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り  
特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ



第2條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ヘシ

第3條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ、但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第4條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第5條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第6條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設ケルコトヲ得

#### 10. 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學

ニ關スル件 (明治44年)  
文部省令第16號

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス、但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

#### 11. 文部省直轄諸學校生徒ノ學

校長ノ許可ナクシテ受ケタ

ル他ノ直轄諸學校入學試験

無効ニ關スル件 (明治33年)  
文部省令第13號

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

#### 12. 文官分限令

(本文省略)文部法令彙纂第七編第一章參照

#### 13. 官吏服務紀律

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

#### 14. 文官懲戒令

(本文省略)文部法令彙纂第七編第三章參照

#### 15. 各官廳執務時間 (抄)

(大正11年)  
閣令第6號

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ次ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ午十二時迄

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

#### 16. 官吏職務外ノ演説及敘述

許可並其取締方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

#### 17. 三大節ニ賀表及言上書奉呈方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

#### 18. 教員免許令

(本文省略)文部法令彙纂第十七編參照

#### 19. 文部省直轄諸學校修身教育

ニ關スル注意

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

#### 20. 文部省直轄諸學校生徒修學

旅行ニ關スル手續

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

#### 21. 學生生徒兒童身體檢查規程



## 22. 學校清潔方法

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

## 23. 學校傳染病豫防規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

## 24. 學校生徒喫煙禁止 (明治33年 文部省訓令第5號)

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二十七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ攜帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校、中學校、師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ内外トヲ問ハス喫煙シ又煙草煙器ヲ攜帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムコトヲ期スヘシ

## 25. 文部省直轄學校學生生徒喫煙

取締ニ關スル注意 (明治43.7.30.  
文部省內訓)

學生生徒ノ喫煙ニ關シテハ明治三十三年文部省訓令第五號ノ訓示ニ基キ各學校ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ講シツツアルハ勿論ノ次第ナレトモ尙往々教室内ニ於テ猥リニ喫煙ヲ爲ス者有之其ノ結果或ハ火災ノ原因トナルノ例ナキニ非サルヲ以テ自今火災ノ取締上ヨリモ一層ノ注意ヲ加ヘ成年者ニ對シテモ校舍内ニ於テハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許シ教室、實驗室、製圖室等ニ在リテハ一切學生生徒ノ喫煙ヲ禁止シ以テ不測ノ禍害ヲ未然ニ豫防スル様注意セラレヘシ

右內訓ス

## 26. 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意

(明治42年  
文部省訓令第12號)

學校生徒ノ飲酒ハ教育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓戒監督ヲ怠ラサルハ本大臣ノ認ムル所ナリ然レトモ訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ教育ノ效果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

## 27. 教育上時弊矯正ニ關スル心得

(明治39年  
文部省訓令第1號)

學生生徒ノ本分ハ常ニ健全ナル思想ヲ有シ確實ナル目的ヲ持シ刻苦精勤他日ノ大成ヲ期スルニ在ルハ固ヨリ言ヲ俟タス殊ニ戰後ノ國家ハ將來ノ國民ニ期待スル所益々多ク今日ノ學生生徒タル者ハ其ノ責任一層ノ重キヲ加ヘタルヲ以テ各々學業ヲ勵ミ一意專心共ノ目的ヲ完ウスルノ覺悟ナカルヘカラス

然ルニ近來青年子女ノ間ニ往々意氣銷沈シ風紀頹廢セル傾向アルヲ見ルハ本大臣ノ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ現ニ修學中ノ者ニシテ或ハ小成ニ安シ奢侈ニ流レ或ハ空想ニ煩悶シテ處世ノ本務ヲ閑却スルモノアリ甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊リ恬トシテ恥チサル者ナキニアラス斯ノ如キハ家庭ノ監督其ノ方ヲ誤リ學校ノ規律漸ク弛緩セルノ致ス所ニシテ今ニ於テ嚴ニ戒慎ヲ加フルニアラスンハ禍害ノ及フ所實ニ測リ知ルヘカラス社會一部ノ風潮漸ク輕薄ニ流レムトスルノ兆アルニ際シ青年子女ニ對スル誘惑ハ日ニ益々多キヲ加ヘムトス就中近時發刊ノ文書圖書ヲ見ルニ或ハ危險ノ言論ヲ掲ケ或ハ厭世ノ思想ヲ説キ或ハ陋劣ノ情態ヲ描キ教育上有害ニシテ斷シテ取ルヘカラサルモノ尠シトセス故ニ學生生徒ノ閱讀スル圖書ハ其ノ内容ヲ精査シ有益ト認ムルモノハ之ヲ勸奨スルト共ニ苟モ不良ノ結果ヲ生スヘキ虞アルモノハ學校ノ内外ヲ問ハス嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラス



又頃者極端ナル社會主義ヲ鼓吹スルモノ往々各所ニ出沒シ種々ノ手段ニ依リ教員生徒等ヲ誑惑セムトスル者アリト聞ク若シ夫レ斯ノ如クシテ建國ノ大木ヲ藐視シ社會ノ秩序ヲ紊亂スルカ如キ危險ノ思想教育界ニ傳播シ我教育ノ根柢ヲ動カスニ至ルコトアラハ國家將來ノ爲メ最モ寒心スヘキナリ事ニ教育ニ當ル者宜シク留意戒心シテ矯激ノ僻見ヲ斥ケ流毒ヲ未然ニ防クノ用意ナカルヘカラス

本大臣ハ國運ニ照シ時弊ニ鑑ミ特ニ茲ニ訓示ス教育ノ當局者及ヒ學校長教員等ハ克ク本大臣ノ旨ヲ體シ父兄保護者ト協心戮力シテ風紀ヲ振肅シ元氣ヲ作興スルニ努メ學生生徒ハ自ラ修メ己ニ克チ學業ヲ成就スルニ專ニシテ上下皆ヒ率キ以テ教育ノ效果ヲ完ウセムコトヲ期スヘシ

#### 28. 文部省直轄學校講演會記念會

運動會等監督方 (明治 42. 1. 9)  
(文部省令號外)

直轄學校學生生徒ノ氣風ハ常ニ全國各地ニ於ケル諸學校生徒ノ模範トナリ其ノ言動ハ惹イテ一般ニ影響ヲ及ホスコト尠シトセス故ニ直轄學校學生生徒タルモノハ克ク其ノ本分ヲ守リ規律ヲ重シ質素勤勉以テ他ノ生徒ノ爲ニ善良ナル模範ヲ示スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ近來直轄學校ニ於テ催ス所ノ講演會、記念會又ハ運動會等ニ於テ當日ノ興趣ヲ添ヘンカ爲種々ノ工夫ヲ廻ラン其ノ結果多數ノ時間ヲ空費スルノミナラス動モスレハ學生生徒ニシテ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ往々演劇興行ニ近キモノヲ演スルヲ見ル斯ノ如キハ當該學校ノ風紀ヲ弛ウシ浮薄ノ弊風ヲ助長スルノミナラス一般ノ學風ヲ廢頹セシムルノ虞ナシトセス故ニ自今右等ノ行爲ナキ様十分注意ヲ加ヘラルヘク尙講演會等ノ場合ニ於テハ職員協同シテ周密ニ學生生徒ヲ指導監督シ教育上善良ナル效果ヲ收メンコトヲ期スヘシ

右訓令ス

#### 29. 文部省直轄諸學校學生時弊

矯正ニ關スル心得 (大正 10. 8. 27)  
(文部省內訓)

學生生徒ハ言フ迄モナク常ニ堅實ナ思想ト不拔ナ意志トヲ以テ專念學業ニ勵ミ品性ヲ磨キ他日ノ大成ヲ期セネハナラヌ然ルニ近時學生ニシテ或ハ輕躁或ハ弱行爲ニ自己ノ前途ヲ誤ルモノカ尠クナイノハ甚タ遺憾ヲアル殊ニ結業妄動シテ校規ヲ紊リ學業ヲ抛チ敢テ意トセス風ヲ生セントスルカ如キハ國家將來ノ爲洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所ヲアル

學生タルモノ深ク省慮シテ自己ノ本分ヲ守リ教職員タルモノ克ク校規ヲ匡シ善ク學生ヲ導キ兩者心ヲ一ニシテ教育ノ目的ヲ達成センコトヲ望ム

右內訓ス

#### 30. 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方

(明治 35 年)  
(文部省訓令第 5 號)

近來學校ニ於テ往々紛擾ヲ見ルハ教育上憂慮スヘキ所ナリ地方長官ハ此際一層學校職員ヲ督勵シ苟モ職員ニシテ生徒ヲ使喚煽動スルカ如キ行爲アル者ニ對シテハ其ノ機ヲ失セス相當措置スヘク又生徒ニシテ其ノ本分ヲ忘レ職員ニ對シテ反抗ヲ試ミ或ハ同盟休校ヲ爲スカ如キ者アラハ嚴重處分セシメ以テ校紀ノ振作ヲ務ムヘシ

#### 31. 陸軍現役將校學校配屬令

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

#### 32. 徵兵令

(本文省略)文部法令彙纂第三十二編第一章參照

#### 33. 徵兵令ニ依ル一年志願兵ニ關



スル學校ノ認定及其ノ入營延

期ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第三十二編第一章參照

34. 勤務演習召集演習召集及簡閱

點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代

フヘカラサル職務ヲ奉スル者

ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第三十二編第一章參照

附 録



スル學校ノ認定及其ノ入營延  
期ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第三十二編第一章參照

34. 勤務演習召集演習召集及簡閱  
點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代

フヘカラサル職務ヲ奉スル者  
ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第三十二編第一章參照

附 錄



## 長岡高等工業學校々友會々則

第1條 本會ハ長岡高等工業學校々友會ト稱ス

第2條 本會ノ目的ハ會員相互ノ親睦心身ノ向上ヲ圖リ本校ノ教育方針ト相俟チテ校風ヲ發揚スルニアリ

第3條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

### 1、名譽會員

知名ノ人ニシテ本會ノ趣旨ヲ贊成シ且ツ會長ノ推薦ニヨリス  
ノ

### 2、贊助會員

本校職員

### 3、通常會員

本校本科學生

第4條 本校職員並ニ本科學生ハ必ス本會々員タルモノトス

本校ニ學籍ヲ有スルモノハ希望ニヨリ通常會員タルコトヲ得

第5條 本會々費ヲ次ノ如ク定ム

1、通常會員 一ケ年金拾圓トシ各學期金五圓ツ、授業料ト共ニ納入スルモノトス

2、贊助會員 毎年協議ノ上一定ノ金額ヲ齎出スルモノトス  
通常會員ハ入會ノ際會費トモニ入會金五圓ヲ納入スルモノトス

第6條 本會ノ目的ヲ達スルタメニ次ノ部ヲ置ク

1、武道部 柔道、劍道、弓道等

2、運動部、陸上競技、野球、庭球、球技、相撲、ピンポン水泳、スキー、登山等

3、學藝部 講演、雜誌、音樂等

第7條 本會ニ次ノ役員ヲ置ク

1、會長 一名 本校々長ヲ推戴ス

2、幹事長 一名 生徒監



- 3、幹事 六名 各科第二學年通常會員ノ五選ニヨリ各科二名宛トス
- 4、會計主任 一名 本校會計課員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 5、部長各部 一名 贊助會員中ヨリ毎年十一月初メ會長之ヲ委嘱ス
- 6、主事各部 若干名 其ノ部ノ通常會員中ヨリ各部員ノ五選ニヨル

第8條 本會役員ノ掌務次ノ如シ

- 1、會長ハ本會ヲ總理ス
- 2、幹事長ハ各部ノ統一、一般會計陸上運動會共ノ他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ監理ス
- 3、幹事ハ各部ノ統一、一般會計、陸上運動會其他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ掌ル
- 4、會計主任ハ會費徵收及現金保管、支拂ノ事務ヲ掌ル
- 5、部長ハ其ノ部ヲ管理ス
- 6、主事ハ部務ヲ處理ス

第9條 役員ノ任期及選舉

- 1、役員ノ任期ハ十一月一日ヨリ翌年十月末日マテ一ケ年トス
- 2、役員ハ毎年十月ニ於テ改選シ會長ノ承認ヲ經テ決定ス
- 3、役員選舉委員ハ現役員全部ヲ以テ組織ス
- 4、役員中缺員ヲ生シタル場合ハ投票次點者ヲ以テ之ヲ補ス

第10條 役員會

役員會ハ豫算決定其他ノ重要ト認メタル場合會長之ヲ召集ス  
役員會ハ左ノ二種トシ議長ハ幹事長ヲ以テ之ニ充ツ

- 1、校友會豫算會
  - 1、豫算説明會 幹事長、會計主任、幹事、部長及主事ヲ以テ組織ス、各部ノ主事ハ豫算案ヲ提出シテ説明スヘシ
  - 2、豫算審議會 幹事長、會計主任、幹事及部長ヲ以テ組織

ス

- ハ、豫算總會 幹事長、會計主任、幹事部長及主事ヲ以テ組織シ豫算審議會ノ作製シタル豫算案ニ基キ當該年度ノ豫算ヲ議決スルモノトス、但シ議決權ハ部長、幹事ハ各一票、主事ハ武道部、學藝各部三票、運動部四票トス
- ニ、役員總會ハ役員全部ヲ以テ組織シ本會全體ニ關スル事件ヲ議決ス

第11條 贊助會員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第12條 本會々則ノ變更ハ役員三名以上又ハ會員十名以上ノ提案ニヨリ役員總會ヲ開キ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス、但シ出席者三分ノ二以上ニ充タリル時ハ本會議ヲ開クコトヲ得ス

悠久會規約

第1條 本會ハ長岡高等工業學校職員相互ノ親睦及職員全體ニ關スル交際上ノ便宜ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第2條 本會ハ長岡高等工業學校ニ於ケル雇員以上ノ職員ヲ以テ組織ス

第3條 會員ハ毎月各自俸給月額百分ノ一ヲ醵金スルモノトス

第4條 本會ニ理事長一名理事若干名ヲ置キ毎年四月會員中ヨリ理事長之ヲ委嘱ス  
理事長ハ本校々長就任ス

理事ハ本會ニ關スル重大ナル事項ヲ商議ス

第5條 本會ニ専務理事二名ヲ置キ各學年毎ニ理事ノ五選ニヨリ之ヲ定ム

理事ハ其學期間ニ於ケル諸般ノ會務ヲ處理ス

第6條 本會ハ年一回大會ヲ開ク、但臨時會ヲ開クコトアル可シ

第7條 醵金ヲ支出スヘキ場合左ノ如シ

- 1、會合費補助



2、 校友會寄附

3、 會員間ノ慶弔

4、 其他職員全體ノ名義ヲ以テスル支出

第8條 大會ノ費用ハ其都度理事ノ相談ニヨリ決定シ本會積立金  
中ヨリ支出シ會費ノ不足ノ分ハ出席者平等ニ負擔スヘキモノト  
ス

第9條 會員ニ吉凶ノ事アルトキハ次ノ標準ニヨリ物品又ハ金員  
ヲ贈呈スルモノトス

結 婚 拾 圓

出 産(第一子ノ場合ニ限ル)參 圓

會員死亡 金貳拾圓以上

會員ノ父母又ハ配偶者死亡 金 拾 圓

子女死亡 { 六歲未滿 金 五 圓  
                  六歲以上 金 七 圓  
                  十三歲未滿 }  
                  十三歲以上 金 拾 圓

會員病氣 其ノ都度相談ニヨル

第10條 會費十二ヶ月以上納付セル會員退會セルトキハ在職年數  
ニ應シ次ノ算出ニヨリ物品又ハ金員ヲ贈呈スルモノトス

- 1、 在職一年ニ對シ退會當時ノ俸給百分ノ二ニ相當スル金額、  
但シ最低額ハ金參圓ヲ降ラサルコト
- 2、 一年ヲ超エル月端數ハソノ月數ニ比例シテ之ヲ算出シ圓以  
下ハ四捨五入スルコト

第11條 本會ノ名義ヲ以テシタル贈呈金品ニ對シテハ返禮ヲ受ケ  
サルモノトス

第12條 積立金ノ出納保管ハ本校會計主任ニ委託シ現金ハ銀行ニ  
預ケ置クモノトス

第13條 積立金ハ一切返付セサルモノトス

第14條 經費ニ不足ヲ生シタル場合ニ於テハ第三條ノ率ニ依リ會  
員ノ協議ヲ經テ之ヲ追徴スルモノトス

第15條 積立金ハ毎年三月末日收支決算ヲ爲シ之ヲ專務理事ヨリ  
報告スルモノトス

第16條 本規約ハ會員三分ノ二以上ノ同意アル場合ニ改正シ得ル  
モノトス







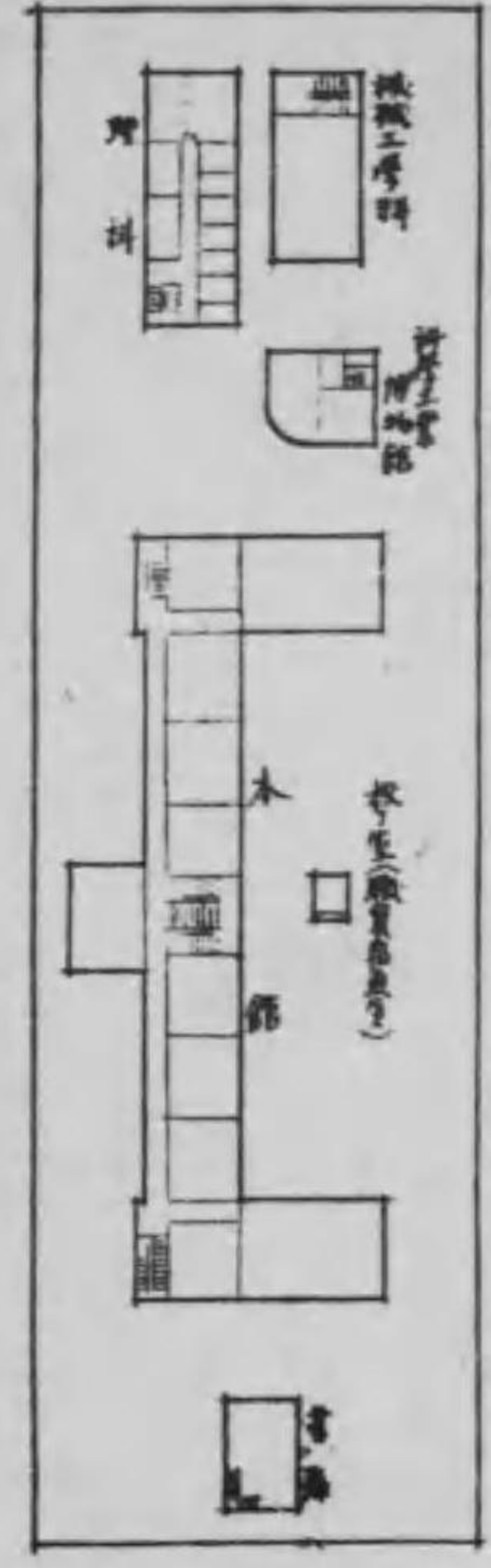
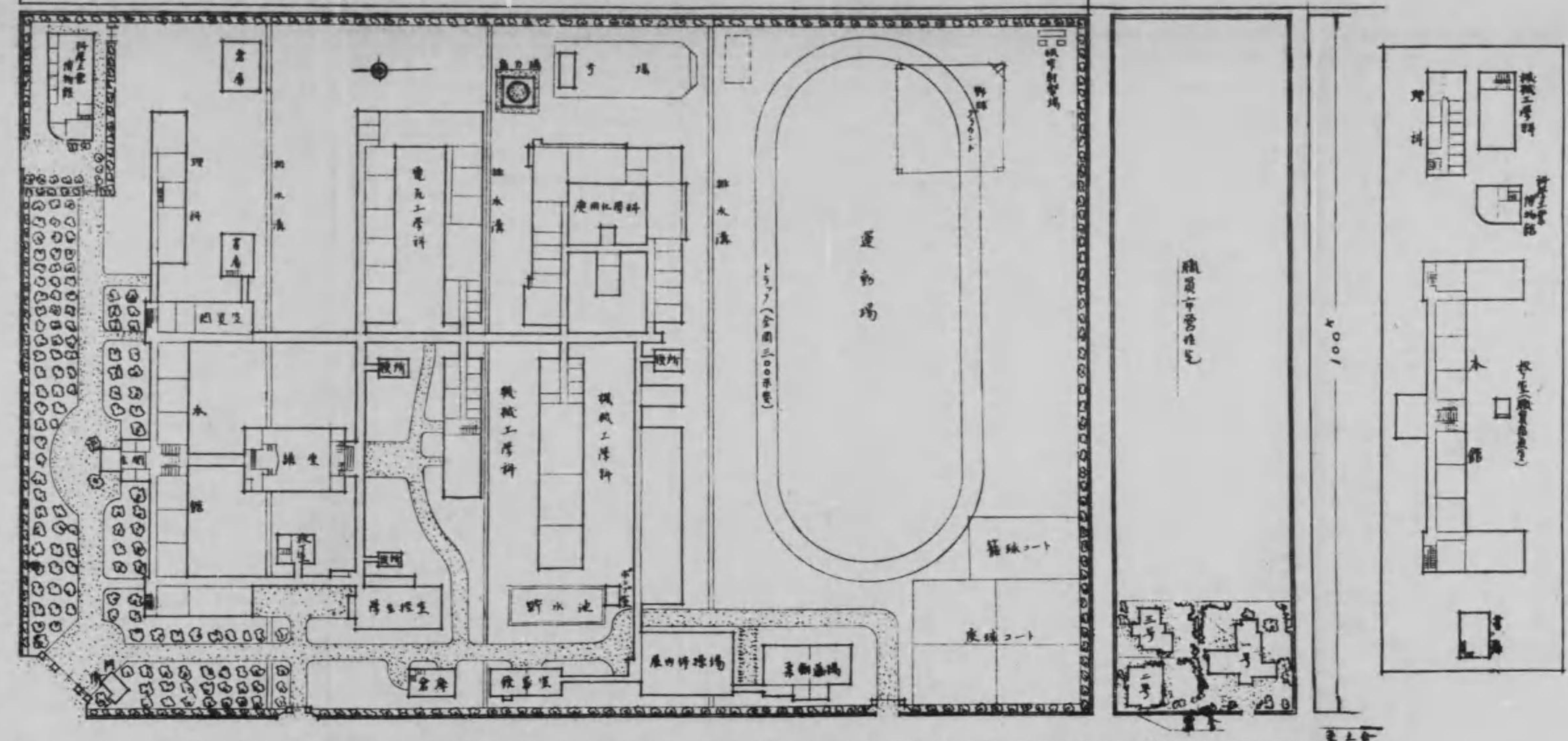
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

敷地総坪数	18000.00
内 課	
校舎	10000.00
運動場	5000.00
官舎及職員宿舎等	3000.00

階下之図

### 長岡高等工業學校建物配置圖

建物総坪数	26704.585
内 課	
本館其他	20554.960
講堂	126.000
学生控室	69.000
屋外体育場	117.000
柔剣道場	82.500
野水池	72.625
官舎	147.500
科学工業博物館	88.340



階上之図

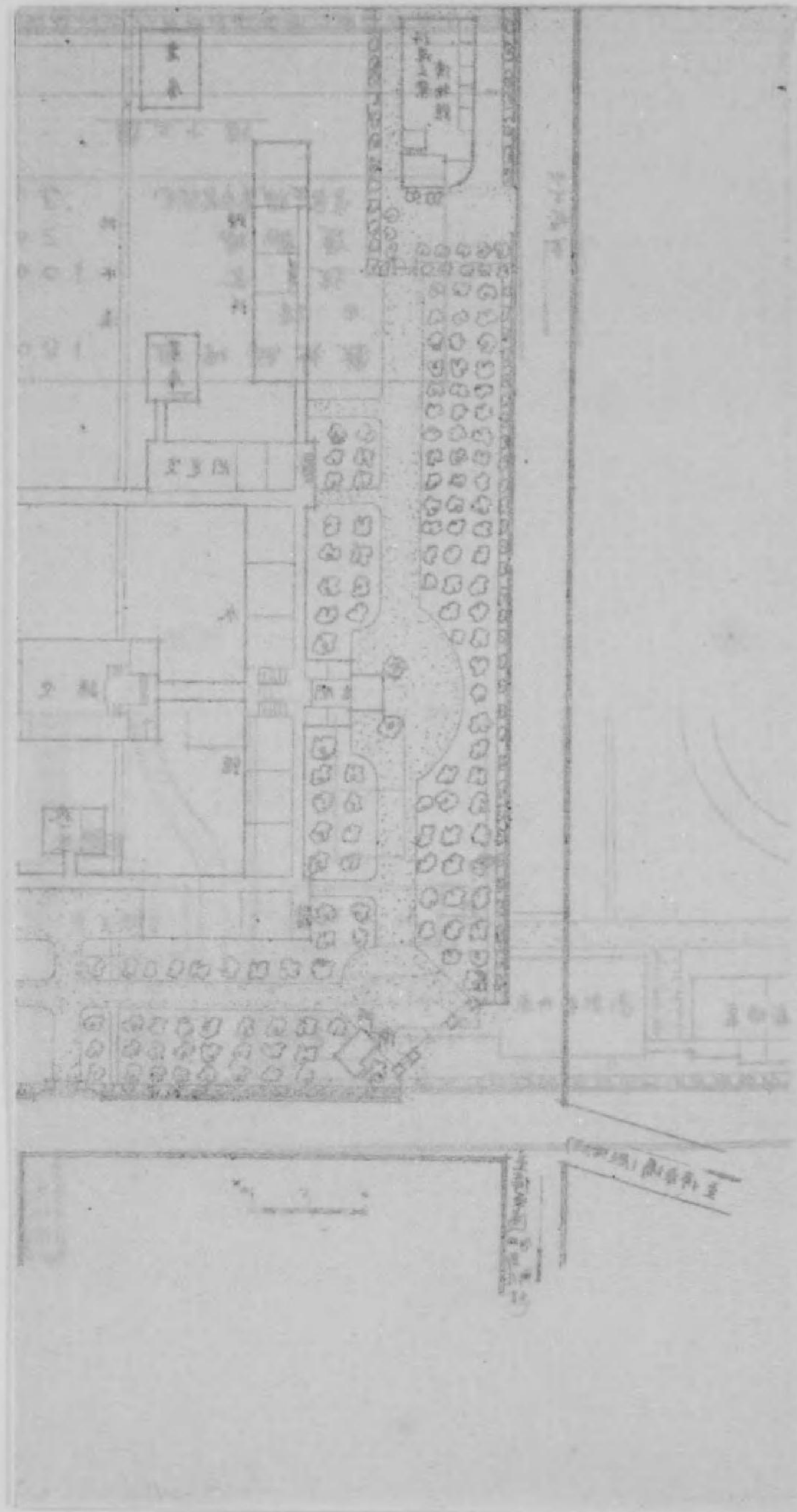
主講堂 (附講堂)

北

上田町

東上町





大正十五年十月二十二日印刷  
大正十五年十月二十五日發行

編輯兼 發行所 長岡高等工業學校

東京市神田區今川小路二ノ四

印刷者 安野愛亮

東京市神田區今川小路二ノ四

印刷所 フクハナ社印刷所

電話 四谷 六一九八番  
振替東京二四四七二番



終